

LIXIL

システムキッチン

取扱説明書

この度はシステムキッチンをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご使用くださいますようお願いいたします。

この取扱説明書は加熱機器や電気製品などの専用の取扱説明書と一緒に、いつでも使える場所に大切に保管してください。

●転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

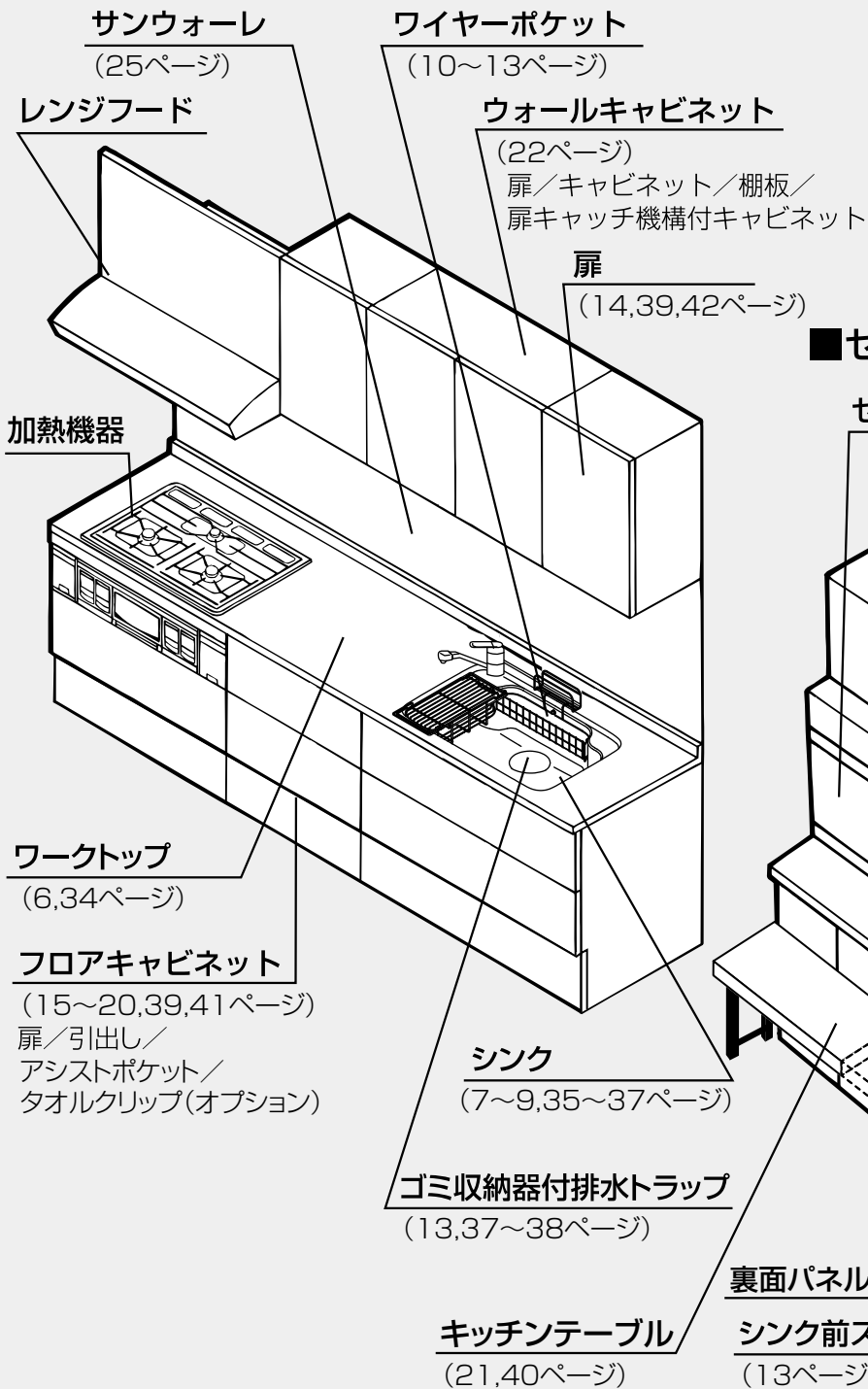


も く じ

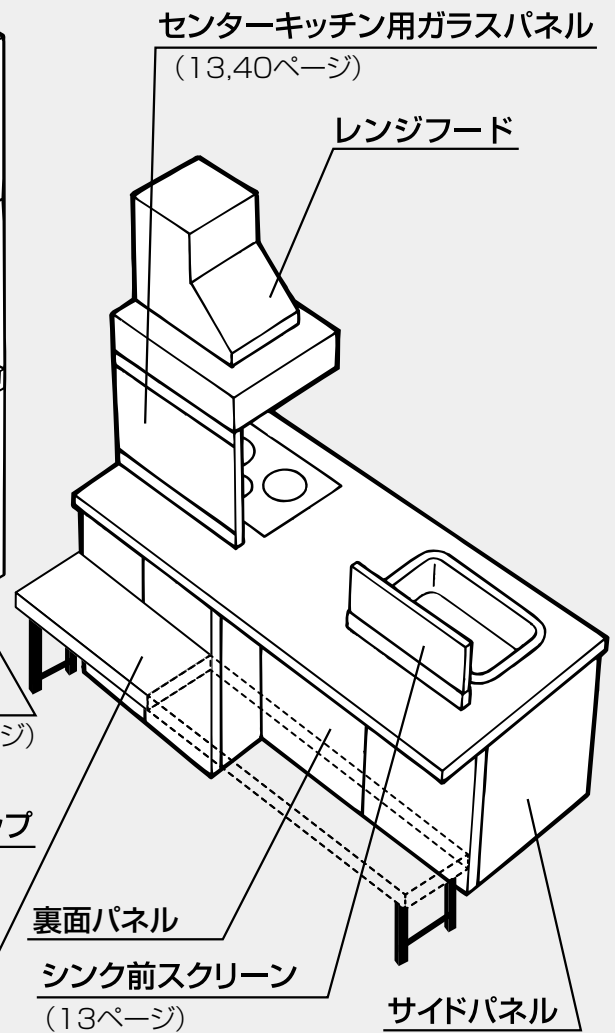
■各部の名称	3
■安全に関するご注意	4~5
■ワークトップまわり	6
ワークトップ	6
シンク	7
シンク付属品・オプション品	10
Wサポート シンク付属品・オプション品	11
ゴミ収納器付排水トラップ	13
センターキッチン用ガラスパネル	13
■キャビネットまわり	14
扉	14
引出し	15
アシストポケット	16
ギャラリバー	19
タオルクリップ	19
収納重量	20
キッチンテーブル	21
■ウォールキャビネットまわり	22
開き扉	22
照明付ウォールキャビネット	22
扉キャッチ機構付ウォールキャビネット	22
■収納ユニットまわり	23
スライディングドアストッカー	23
家電収納・蒸気排出ユニット付（吸込み式）	23
家電収納・蒸気排出ユニット付（送風式）	24
ダストワゴン	25
■サンウォール	25
■長くお使いいただくために・調整方法	26
扉の調整・外し方	26
引出し・鏡板の調整・外し方	27
■長くお使いいただくために・お手入れ方法	30
汚れの種類と発生部位	30
用具と洗剤	32
ワークトップ	34
シンク	35
水栓金具	37
排水まわり	37
キャビネット・引き出し	39
扉・パネル類	39
キッチンテーブル	40
■収納例	41
■故障・修理について	42
本製品のホルムアルデヒド発散区分	42
■アフターサービス	43
保証書	47

各部の名称

■壁付キッチン



■センターキッチン



●図はシステムキッチンのレイアウト例です。

加熱機器、レンジフード、食器洗い乾燥機、水栓金具などについては専用の取扱説明書をご利用ください。この説明書は使用上支障のない範囲で略図や写真を使用して説明しています。お客さまの商品と一部異なる場合もありますので、ご不明の点はお買い上げいただいた販売店か、お客さま相談センターまでご相談ください。

※センターキッチン用ガラスパネルは高さの低いハーフタイプもあります。

※レンジフードでの煙の捕集は、窓やエアコンなどによる風の流れ、人の動きなどに大きく影響を受けます。調理中は煙を効率よく捕集するために、外部からの風がレンジフード周辺に当たらないように注意してください。

安全に関するご注意

ご使用の前に、この『安全に関するご注意』をお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
 - お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。
 - 転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠ 注意

この表示を実行しない場合、傷害を負う可能性と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



この記号は気を付けていただきたいことを「注意喚起」するものです。



この記号は「禁止行為」であることを告げるものです。



この記号は「必ず実行」していただきたいことを告げるものです。

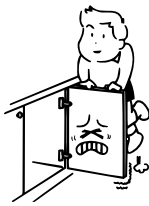
⚠ 注意



扉や取っ手に乗らない。

禁止

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



コンセントに水をかけない。

禁止

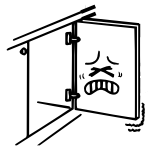
漏電やショート、火災のおそれがあります。



扉を大きく開け過ぎない。

禁止

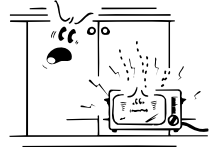
丁番が外れ、ケガをするおそれがあります。



扉を閉めたキャビネット内で電気製品を使わない。

禁止

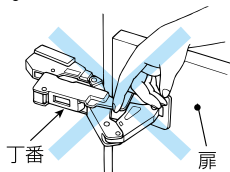
電気製品の故障、火災のおそれがあります。



扉開閉時に丁番に触らない。

禁止

丁番に指を挟んでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



ワークトップやカウンターには絶対にぶら下がるな。

禁止

落下してケガをするおそれがあります。



高温の油や熱湯を流さない。

禁止

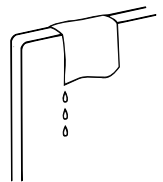
排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水漏れや詰まりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながら行ってください。また、ステンレスの熱膨張により“ポーン”と音がすることがありますが、製品に問題はありません。



エンドパネルにぬれた布巾などを掛けない。

禁止

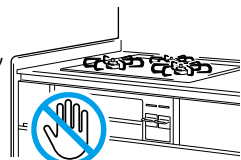
長時間ぬれたまま放置すると膨れたり剥がれたりするおそれがあります。



加熱機器の使用時、使用後しばらくは高温部に触れない。

禁止

加熱機器本体やコンロやグリル周辺部は高温になり、ヤケドをするおそれがあります。



コンロ前のガラスパネルに触れない。

禁止

使用中・使用直後に触れるとヤケドをするおそれがあります。

安全に関するご注意

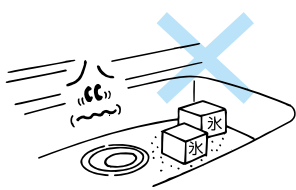
禁止 センターキッチン用ガラスパネルを急冷しない。
水をかけるなどして急冷すると、ガラスが割れるおそれがあります。

禁止 製品を分解しない。
思いがけないケガをするおそれがあります。

禁止 ヌメリ取り剤の使用禁止。
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンク周辺のステンレスがサビる場合があります。
使用しないでください。



禁止 シンクの中に長時間、氷を放置しない。
シンクの裏側が結露するおそれがあります。



禁止 取っ手にぬれたままのタオルをかけない。
取っ手や扉の表面のはがれ、膨れ、シミ、変形するおそれがあります。

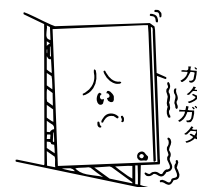
必ず実行 扉やエンドパネルに水が掛かったり食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）により扉やパネル材、ワークトップ裏面が結露した場合は、速やかに拭き取る。
長時間ぬれたまま放置すると、膨れたり剥がれたりするおそれがあります。

必ず実行 食器洗い乾燥機用化粧パネルの裏面に付いた水滴は、柔らかい布で拭き取る。

水滴が付いたまま放置すると、扉がふくれたり水滴がパネルにつたってキャビネット内に水が浸入するおそれがあります。

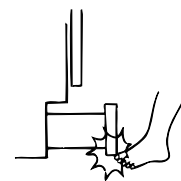


必ず実行 扉が傾いたりガタついているときは、丁番のねじを締めなおす。
扉が落ちてケガをするおそれがあります。



必ず実行 開閉は一段ずつ開閉する。
上下または左右の引出しおよび食器洗い乾燥機とともに開閉すると鏡板同士がこすれて扉にキズがつくおそれがあります。

注意 扉やフロア引出しの開閉時は足先に注意する。
ぶつかけたり指を挟んだりして、ケガをするおそれがあります。



注意 センターキッチンの角に頭や身体をぶつけないように注意する。
思いがけないケガをするおそれがあります。

注意 引出しの奥に落ちたものを取り出すときは、引出しを一度取り出す。
思いがけないケガをするおそれがあります。

●キッチン本体以外の機器などには専用の取扱説明書があります。食器洗い乾燥機の排熱（蒸気）によるキッチン本体および周囲の収納物への影響、また、IH機器の排熱による周囲の収納物への影響はキッチン本体の注意事項と異なる場合があります。必ずお読みください。

●お手入れに使用する洗剤・薬剤は容器などに記載されている注意事項・禁止事項を必ずお読みください。

ワークトップまわり

ワークトップ

- ワークトップの素材はステンレスと人造大理石があります。
- 使い終わったら汚れを水拭きして、さらに乾拭きするといつまでもきれいにお使いいただけます。
- ステンレストップは熱や汚れに強くお手入れも簡単なステンレスです。
- 人造大理石トップはデザイン性の高い人造大理石です。

⚠ 注意

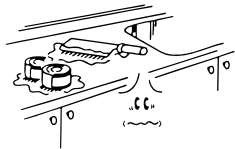
🚫 調理器具や食器などを引きずらない。

ワークトップの上でナベや大皿などを引きずると、ワークトップや調理器具、食器などの表面にキズがつきますので避けてください。



🚫 ぬれた鉄製品を放置しない。

ぬれた包丁や缶は長時間放置しないでください。ぬれた鉄製品がサビると、そのサビがステンレスに移りサビさせます。人造大理石の場合はサビの色が移るおそれがあります。



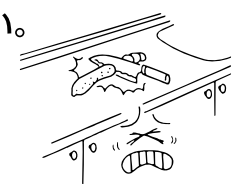
🚫 衝撃を与えない。

ナベなど硬い物・重い物を落とすと、ワークトップ表面がキズつき、または変形します。人造大理石トップは割れることがありますので気を付けてください。



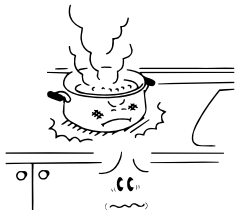
🚫 包丁などを直接使用しない。

包丁やナイフなどの刃物をワークトップに直接あてると、表面にキズがつきます。



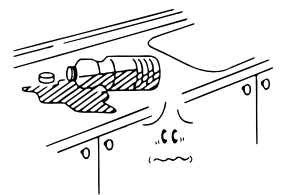
🚫 熱いものをじかに置かない。

沸騰したヤカンや熱したフライパン、火のついたタバコは、トップに直接置かず、鍋敷きや灰皿をご利用ください。特に人造大理石トップは熱によって変色するおそれがあります。また、ステンレストップは裏面の補強板がはがれるおそれがあります。



⚠ 必ず実行 水滴や汚れはすぐ拭き取る。

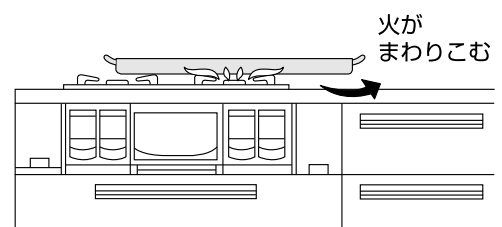
醤油・食酢・煮こぼれ・調味料などの汚れや、またお手入れの際の洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流してください。たまった水は拭き取ってください。放置すると汚れが落ちにくくなり、ワークトップが変色するおそれがあります。ステンレストップの場合はサビが発生するおそれがあります。



特に、グループ3の人造大理石トップ(ブラックストーン、ブラウンストーン)は他の色に比べて水シミ、手油、キズが目立ちます。

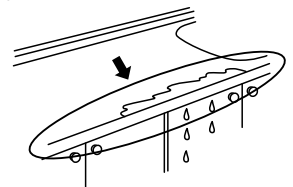
⚠ 必ず実行 鉄板を使うときははみださないようにする。

火が回り込んでワークトップが焦げるおそれがあります。



⚠ 必ず実行 ワークトップ前面の下部は、濡れたまま長時間放置しない。使用後に濡れている場合は、速やかにふきとる。

ワークトップ前面の下部は、長時間ぬれたまま放置すると、裏側の芯材に水が回り、膨れが生じるおそれがあります。



ワークトップまわり

シンク

⚠ 注意



調理直後の高温のフライパンや油鍋などを直接置かない。
禁止 人造大理石のひび割れ・変色・変形の原因となります。



高温の油や熱湯を流さない。
禁止 排水装置や排水パイプは樹脂部品なので、傷んで水漏れや詰まりのおそれがあります。ゆでこぼしは水を流しながら行ってください。また、ステンレスの熱膨張により“ポーン”と音がすることがありますが、製品には問題はありません。



ぬれた鉄製品を放置しない。
禁止 ぬれた包丁や缶などはシンクに長時間放置しないでください。サビが移る(もらいサビ)ことがあります。



シンク周辺の樹脂部分に高温の油や熱湯をかけない。
禁止 変質や変形・変色のおそれがあります。



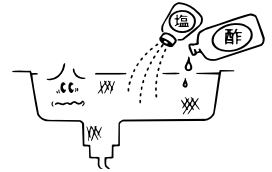
シンクの中に長時間、氷を放置しない。
禁止 シンクの裏面が結露するおそれがあります。



水切りプレートおよびサポートワイヤーの上に直接、熱したナベや重量物を置かない。
禁止 変色・変形します。水切りプレートをまな板がわりに使わないでください。








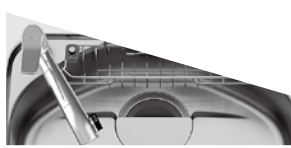










塩分や洗剤・漂白剤などはすぐに洗い流す。
必ず実行 醤油・食酢・調味料・梅干しなど塩分の強いものや洗剤・漂白剤などはすぐに水で洗い流してください。放置するとサビや変色のおそれがあります。




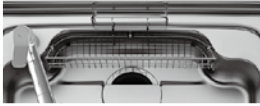












シンクに三角コーナーなどを設置する場合はゴミをこまめに捨てる。シンクに汚れが垂れた場合はすぐに水で洗い流す。
必ず実行

ワークトップまわり

		ひろびろキレイシンク	キレイシンク	ひろびろラククリーンシンク	ラウンド68シンク
名称・寸法		内寸：W92×D40cm	内寸：W77×D40cm	内寸：W94×D52cm	内寸：W65×D45cm
					
主な特長		<ul style="list-style-type: none"> ●すみすみまでお手入れしやすいシンク形状&シームレス仕上げ。 ●傷がついても補修可能。(お手入れキット付) 	—	—	—
	デュアルコート	あり	—	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れにも傷にも強いデュアルコート&スムーズドットエンボス。 ※デュアルコートシンクは、表面に傷や汚れがつきづらいコーティング処理をしておりますが、「傷が入らない」「汚れない」ものではありません。 ●排水フタも排水口もステンレス素材を採用。 ●人造大理石トップとの継ぎ目が掃除しやすいピタッとジョイント。 ●水ハネ音も排水音も静かな静音設計。 	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れにも傷にも強いデュアルコート&スムーズドットエンボス。 ※デュアルコートシンクは、表面に傷や汚れがつきづらいコーティング処理をしておりますが、「傷が入らない」「汚れない」ものではありません。 ●コンパクトでも作業しやすいラウンド形状。 ●水ハネ音も排水音も静かな静音設計。
		なし	—	<ul style="list-style-type: none"> ●排水フタも排水口もステンレス素材を採用。 ●水ハネ音も排水音も静かな静音設計。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパクトでも作業しやすいラウンド形状。 ●水ハネ音も排水音も静かな静音設計。
付属品		まな板スタンド付ワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。	まな板スタンド付ワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。	まな板スタンド付ワイヤーポケット ※まな板スタンドなしも選べます。	まな板スタンド付ワイヤーポケット
					
オプション		サポートワイヤー	サポートワイヤー	サポートワイヤー	サポートワイヤー
					
	水切りカゴ	水切りカゴ	水切りカゴ	水切りカゴ	
					

ワークトップまわり

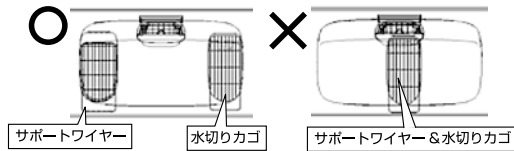
		スキットシンク	ひろびろWサポートシンク	Wサポートシンク
		内寸：W76×D45cm	内寸：W91×D49cm	内寸：W76×D49cm
名称・寸法				
主な特長	デュアルコートあり	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚れにも傷にも強いデュアルコート&スムーズドットエンボス。 ※ デュアルコートシンクは、表面に傷や汚れがつきづらいコーティング処理をしておりますが、「傷が入らない」「汚れない」ものではありません。 ● 水ハネ音が静かな静音設計。 ● 大容量の大きなポケット。 ● 最短距離でスムーズに水が流れるナイアガラフロー方式。 		
	なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 水ハネ音が静かな静音設計。 ● 大容量の大きなポケット。 ● 最短距離でスムーズに水が流れるナイアガラフロー方式。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水ハネ音が静かな静音設計。 ● 大容量の大きなポケット。 ● 最短距離でスムーズに水が流れるナイアガラフロー方式。 ● 作業がはかどる2段のレーン。 	—
付属品		まな板スタンド付ワイヤーポケット 	まな板スタンド付ワイヤーポケット  マルチプレート  アンダー水切りプレート  シンクポケットディバイダー 	
オプション		サポートワイヤー  シンクポケットディバイダー 	トップ水切りカゴ  アンダー水切りカゴ  ダストケース 	
		水切りカゴ 		

ワークトップまわり

シンク付属品・オプション品

⚠ 注意

禁止 サポートワイヤー、水切りカゴはシンク中央で使用しない。
シンクから脱落し思わぬケガをすることがあります。またシンクが破損するおそれがあります。端につけてご使用ください。
(※Wサポートシンク・スキットシンクは中央で使用できます)

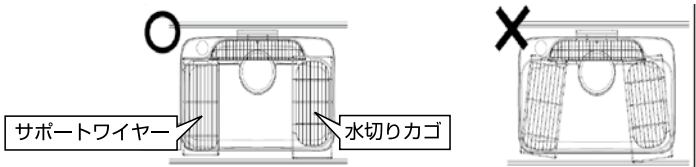


禁止 最大積載荷重以上の物を載せない。
変形や破損により、思わぬケガをすることがあります。
サポートワイヤー: 15kg まで
水切りカゴ: 10kg まで



禁止 シンク付属品・オプション品は食器洗い乾燥機を使用しない。
変質や変形のおそれがあります。

禁止 正しく設置されていない状態で使用しない。
脱落し思わぬケガをすることがあります。



禁止 サポートワイヤーの端に手をかけない。
思わぬケガをすることがあります。またサポートワイヤー自身が脱落しシンクが破損するおそれがあります。



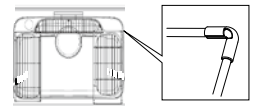
禁止 重いものは端や片寄らせて載せない。
食器などが落下し、思わぬケガをすることがあります。またシンク、食器などが破損するおそれがあります。なるべく中央に置きバランスに注意してください。

禁止 まな板スタンドにまな板・Wサポートシンク専用プレート以外の重量物を収納しない。
収納物が倒れ、思わぬケガをすることがあります。

必ず実行 調理器具は安定した状態で使用してください。
サポートワイヤーとトップはわずかな段差があります。不安定な状態で調理器具を使用しますと思わぬケガをすることがあります。

必ず実行 まな板スタンド付ワイヤーポケットは、シンクの所定位置にしっかりとセットする。
正しくセットされていないと、使用中に外れ破損やケガをすることがあります。

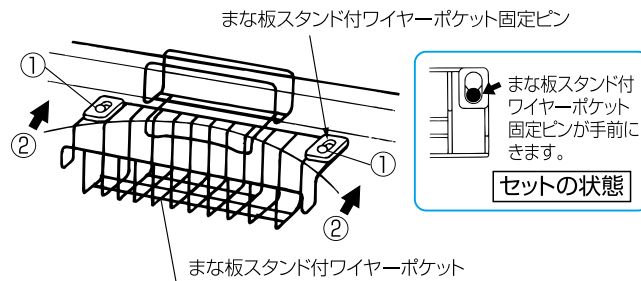
必ず実行 付属品・オプション品を使用時には樹脂カバーは取り付けのまま使用する。
外したまま使用するとキズがつくおそれがあります。



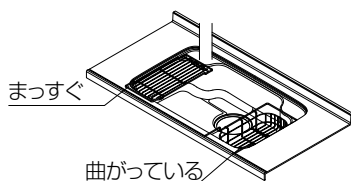
必ず実行 まな板スタンドは、まな板またはプレート類の水分を切ってからご使用ください。
まな板とプレート類を濡れたまま立てるとカウンタートップに水が垂れて汚れの原因になります。

●ラウンド68シンク用 まな板スタンド付ワイヤーポケット セット方法

①の穴にまな板スタンド付ワイヤーポケット固定ピンが見えるようにセットしてください。
②の方向にカチッと音がするまで押してください。
取外しは、逆の操作をしてください。

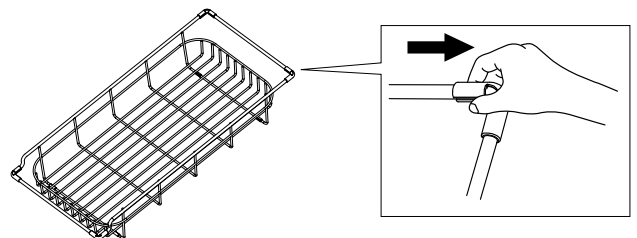


●サポートワイヤー・水切りカゴ 取り付け向き

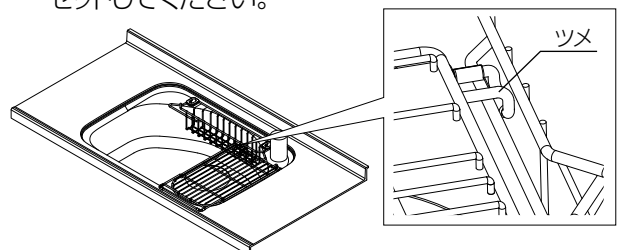


●樹脂カバー 取外し方法

お手入れなどで樹脂カバーを外す場合 図の方向に引っ張ると外れます。

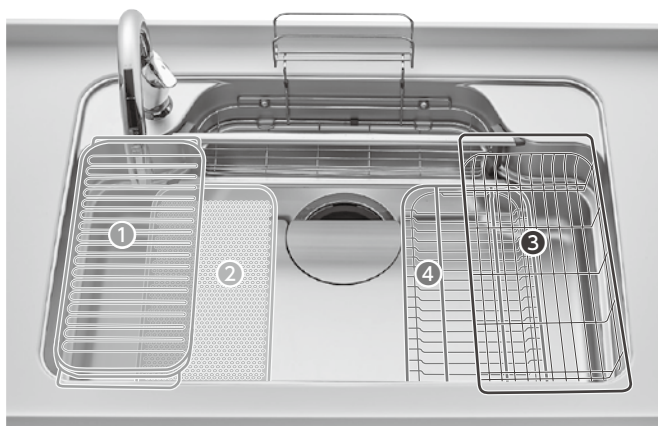


※ラウンドシンク68は特にセットする位置にご注意ください。
サポートワイヤーのツメが図の位置にくるようにセットしてください。



ワークトップまわり

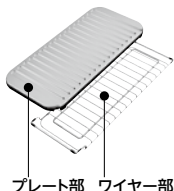
Wサポート シンク付属品・オプション品



①マルチプレート・プレート部

ワークトップ上で、水切りスペースとしても活用できます。

トップレーンでの使い方



①マルチプレート

シンクの端に設置すれば、作業スペースを広く確保できます。ワイヤー部は浅い水切りカゴとしてもつかえます。

①マルチプレート・ワイヤー部

③トップ水切りカゴ

オプション

深さがある大容量のトップ水切りカゴ。4人分の食器が水切りできます。

アンダーレーンでの使い方



②アンダー水切りプレート

ワークトップから1段下がった高さに設置し、茹でこぼしなどに使用できます。(茹でこぼしは水を流しながら行ってください。)

①マルチプレート・プレート部

アンダーレーンにも設置ができます。水を流しながら作業できるスペースが広がります。

④アンダー水切りカゴ

オプション

包丁や菜箸などの水切りができ、トップ水切りカゴの下にスライドもできます。

※Wサポートシンクの他は、スキットシンクのみ付属品・オプション品をシンク中央に設置して使用できます。他のシンクではシンク端に設置してください。

主な特徴

すっきり重ね置き



全てのシンクサポートは1ヶ所に重ね置きできます。

まな板スタンドに収納



プレート類をスタンドに収納してシンクを広く使えます。

キャビネットに収納



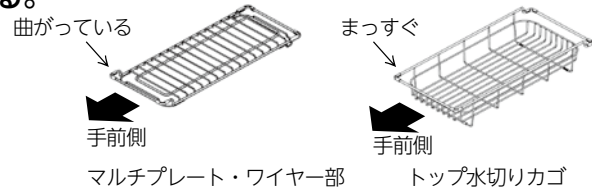
キャビネット内のアシストポケットにも収納できます。

ワークトップまわり

⚠ 注意

- ❗ **前後、上下方向を確認し、正しい向きで使用する。**
脱落し思わぬケガをすることがあります。

必ず実行

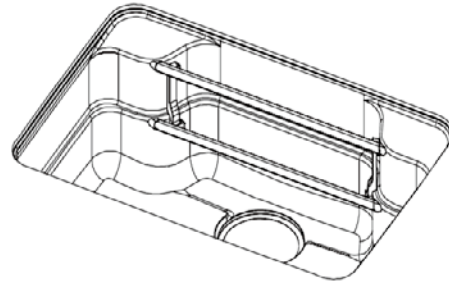
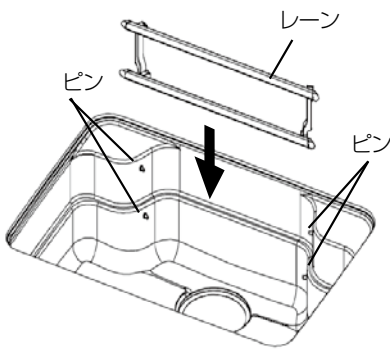


- ❗ **耐荷重を守って使用する。**
変形や破損により、思わぬケガをすることがあります。

必ず実行 かぼちゃを切る等の大きな力のかかる作業はワークトップ上で行ってください。

●レーンの取付け方法

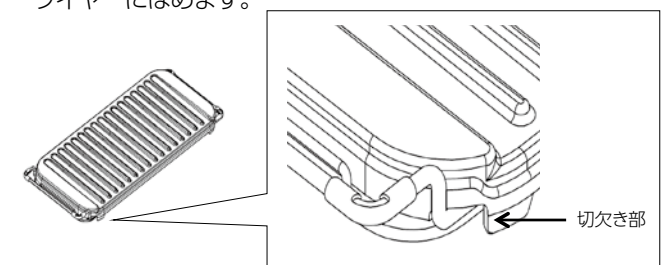
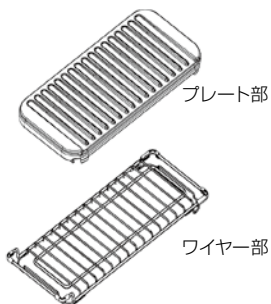
- ①シンクの4カ所のピンにレーンを引っ掛けます。
- ②しっかりとハマっていることを確認します。



●マルチプレートの重ね方

重ねるとトップレーン（シンク内上段）で使用できます。

- ①図の順番で重ねます。
- ②重ねる際は図のように、プレート部底面の切欠き部をワイヤーにはめます。



●シンクポケットディバイダーの取外し方・取付け方



取外し方

矢印の方向に回しながら持ち上げると外れます。

取付け方

ワイヤーに引掛けながらはめこみます。

ワークトップまわり

ゴミ収納器付排水トラップ

注意



粘度のあるものや、油類を流さない。
おかゆや調理で残った油などを流すと固まってしまい、トラップの詰まりの原因となります。誤って流してしまった場合は、お湯を鍋などにいっぱいにくみ、数回流してください。



市販の排水口用水切りネットを使用しない。
市販の排水口水切りネットを使用すると、ゴミカゴの詰まりの原因になったり、排水能力が低下します。



水が凍った場合

必ず実行 冬期や寒冷地で、トラップ部の中にある水が凍ってしまう場合には、氷を溶かして使用してください。



必ず実行 **卓上食器洗い乾燥機からの排水はすぐに洗い流す**
シンクに放置するとサビや変色、コート剥れのおそれがあります。



排水カップ、ゴミカゴ、ワン付ストレーナーを使用する。

必ず実行 排水カップ、ゴミカゴ、ワン付ストレーナーを取り付けずに排水を行うと、トラップ内にゴミ等が流入し、トラップが詰まるおそれがあります。



ゴミはこまめに捨てる。

必ず実行 ゴミカゴにたまったゴミは、すぐに捨ててください。ゴミカゴにゴミをためると、排水能力が低下し、ゴミが腐って臭気が発生するおそれがあります。



定期的にお掃除する

必ず実行 お手入れ方法に従って排水キャップ、トラップなどを定期的にお掃除してください。ゴミが溜まると排水能力の低下や臭気の原因となります。

センターキッチン用ガラスパネル

センターキッチンで気になるダイニング側への油ハネを防ぎます。

- コンロ前全面タイプ
ワークトップ上面からレンジフード下まで前面を覆います。
ダイニング側への油ハネを防ぎます。
- コンロ前ハーフタイプ
ワークトップ上面から約25cmの高さまでを覆います。
全面を覆うものではないので、近くの窓・ドア・エアコンや人の移動などによる室内の空気の流れの影響を受けて捕煙効率が落ちることがあります。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

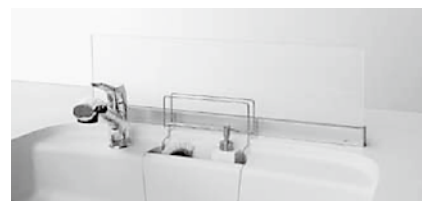


- シンク前スクリーン

コンロ前ハーフタイプと同じデザインで見せたくない洗剤やスポンジを隠し、ダイニングへの水ハネをガードします。

※まな板の形状により、接触する場合があります。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。



注意

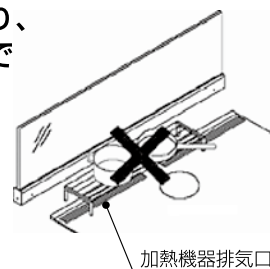


コンロ前のガラスに触れない。
使用中・使用直後に触れると、ヤケドをするおそれがあります。



加熱機器の排気口をふさいだり、排気口のまわりを棚や鍋などで覆わないでください。

熱がこもりガラスが破損するおそれがあります。



キャビネットまわり

扉

すべての扉がお手入れが楽なクリーン扉です。

⚠ 注意



禁止

扉や取っ手に乗らない。

扉に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。丁番がこわれると扉が落下してケガをするおそれがあります。特に、お子さまにはご注意ください。



禁止

扉にテープを貼らない。

扉にセロテープやガムテープを貼ると、粘着剤で表面が侵されます。また、剥がした後は汚れが残るおそれがあります。



禁止

上置きの開き扉を開けたまま、扉の下に入らない。

思いがけないケガをするおそれがあります。



禁止

包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。

指定本数以上入れると、扉の開閉時などに包丁が引っ掛かったり落ちてケガをするおそれがあります。



必ず実行

優しく開閉する。

扉は軽い力で開閉できます。あまり強い力をいれずに開閉してください。扉は90度以上開きます。隣のキャビネットや壁などに当たらないよう気を付けてください。扉や取手にキズがつきます。



必ず実行

ぬれたら柔らかい布ですぐ拭く。

フクレたり、変色するおそれがあります。



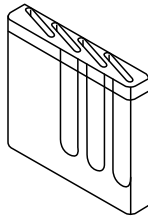
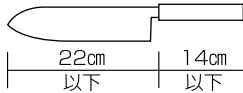
注意

スライド式の扉に指を挟まない。

ドアを開閉する時、指などを挟まないようご注意ください。特に、お子さまにはご注意ください。

■開き扉タイプの包丁差し

収納可能な包丁の数は4本です。
開き扉タイプの包丁差しは固定です。
取外しはできません。



必ず実行

包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認してください。落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。出すときもまっすぐ引き出してください。刃渡りの長い包丁は包丁差しより下に刃物が出る場合があります。十分に注意してください。

キャビネットまわり

引出し

引出しは取っ手の中央付近を持って開け閉めしてください。

⚠ 注意



引出しに乗らない。

引出しを踏み台代わりに使ったり、お子さまが乗って遊んだりすると、落下してケガをする危険があります。絶対に乗らないでください。



包丁差しには包丁を指定本数以上入れない。

指定本数以上入れると、引出しの開閉時などに包丁が引っ掛かったり落ちてケガをするおそれがあります。



引出しは1段ずつ開閉する。

上下の引出しをともに開閉すると鏡板同士がこすれて鏡板にキズがつくおそれがあります。



包丁差しは所定の場所で使用する。

所定の場所以外で使用すると、引出しの開閉時などに包丁が落ちてケガをするおそれがあります。お手入れで外したら必ず元の位置に戻してください。

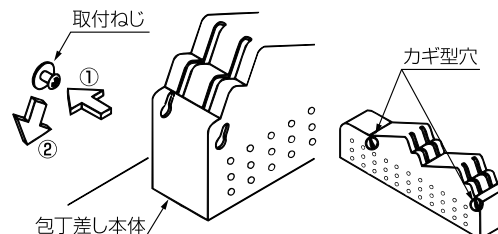
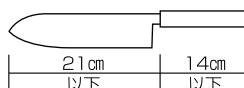
■引出しタイプの包丁差し

●包丁差しの取付け

- ①本体2ヶ所のカギ型穴部を取付ねじに差し込みます。
- ②本体を斜め下方に軽くスライドさせると固定されます。

●包丁差しの取外し

取外しは取付けの逆の操作をしてください。

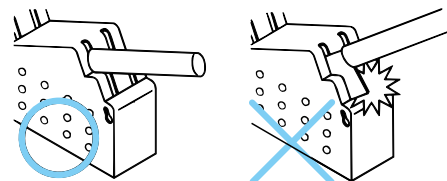


⚠ 注意



必ず実行

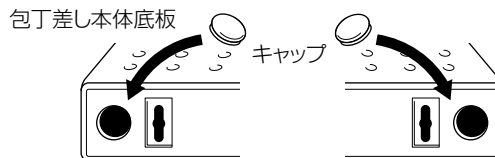
- 包丁は図のように正しく収納してください。不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出しケガをするおそれがあります。
- 包丁差し本体を取り外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取り除いて行ってください。ケガをするおそれがあります。
- 清掃などを行う際に、包丁差し本体の端部などでケガをしないようにご注意ください。
- 清掃などで包丁差し本体の底板2ヶ所のキャップを取り外す場合は、必ずキャップを図のように元に戻してください。刃が底板の穴より飛び出しケガをするおそれがあります。
※キャップがついていないタイプもあります。



＜収納の目安＞

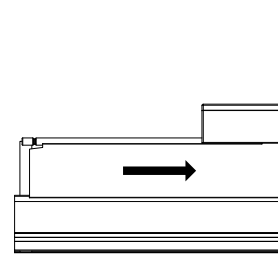
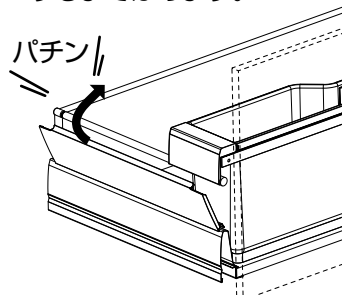
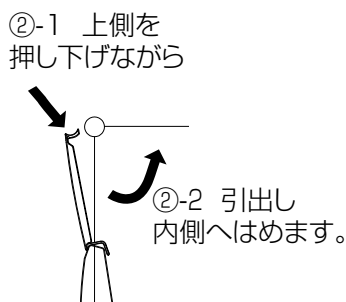
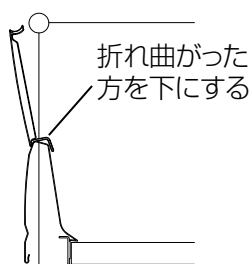
収納本数	刃の長さ	柄の長さ	刃の厚み
4本	21cmまで	14cmまで	0.7cmまで

上記の目安内でも特殊な形状の包丁(和包丁、外国製包丁等)は収納できない場合があります。



●サイドフェンス

- ①下側をレールに乗せます。
- ②図の手順ではめます。
- ③上側を"パチン"と音がするまではめます。
- ④引出し手前までスライドさせます。



サイドフェンスがはまり切っていない状態で引出しを閉めない。サイドフェンスが破損するおそれがあります。



指をはさまないように注意してください。ケガをするおそれがあります。

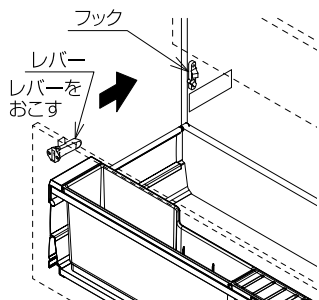
キャビネットまわり

■安全装置 (チャイルドロック)

一部のシンク用キャビネットには小さなお子さまのいたずらを防ぐ、チャイルドロックが付いています。

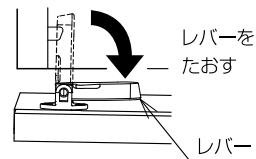
●ロックのしかた

- ①扉を開いた状態でレバーを起こしてください。
- ②レバーを起こしたままで扉を閉めると、フックにレバーがかりロック状態になります。



●ロック解除のしかた

扉を少し開いた状態で、すき間に手を入れてレバーを倒してください。



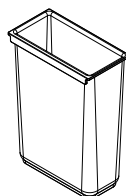
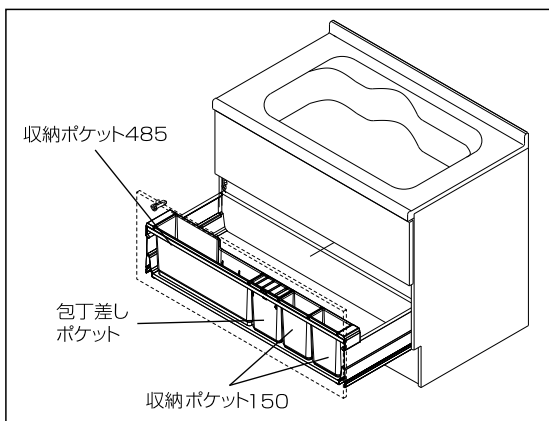
アシストポケット

包丁やラップ、まな板などを立てた状態で収納でき、出し入れが簡単な収納です。引出しを少し開けたらすぐに取り出せます。

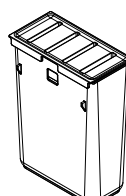
●シンク前アシストポケット

包丁、まな板、ラップ等を収納します。

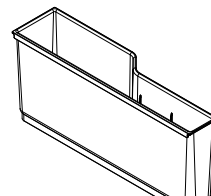
●シンク前アシストポケットの種類



収納ポケット
150



包丁差し
ポケット



収納ポケット485

●アシストポケット 内装品対応表

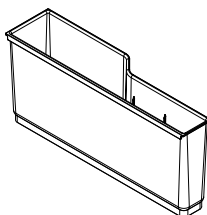
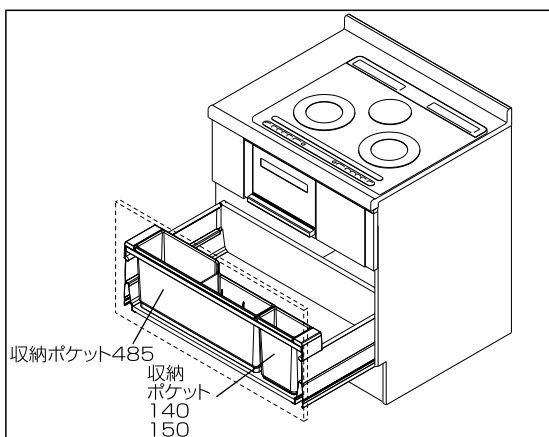
	幅105cm	幅90cm	幅75cm
収納ポケット485	1ケ	1ケ	1ケ
包丁差しポケット	1ケ	1ケ	1ケ
収納ポケット150	2ケ	1ケ	—

最大積載重量：総量5kg

●加熱機器前アシストポケット

お玉類、油凝固材などを収納します。

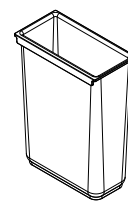
●加熱機器前アシストポケット



収納ポケット485



仕切り



収納ポケット
150・140

●アシストポケット 内装品対応表

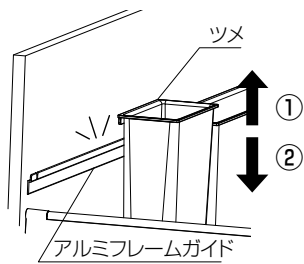
	幅105cm	幅104cm	幅90cm	幅89cm	幅75cm	幅74cm
収納ポケット485	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ
収納ポケット150	3ケ	2ケ	2ケ	1ケ	1ケ	—
収納ポケット140	—	1ケ	—	1ケ	—	1ケ
仕切り	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ	1ケ

最大積載重量：総量5kg

対象物	目安	一般的なサイズ	備考	
まな板	幅45cm×厚4cm以下	木製：幅40cm×厚3cm×奥行23cm 樹脂製：幅41cm×厚1.5cm×奥行23cm	対象物のデザインや構造によっては制限(目安)の範囲内であっても収納できない場合があります。	
包丁	20cm以下 14cm以下 	万能包丁：柄～刃先18cm+柄13cm (三徳)		パン切包丁は収納できません。
菜箸 揚げ箸	 ↑シンク下 33cm以下 ↓コンロ下 31cm以下	菜箸：30・33・36cm 揚げ箸：40cm以上		揚げ箸は収納できません。
お玉類 ターナー類		お玉類：28cm～31cm ターナー類：29cm～34cm		
ラップ類	収納可能	30cm×50m：31.8cm×4.8cm×4.8cm		幅30cmのラップはコンロ下に収納できません。

キャビネットまわり

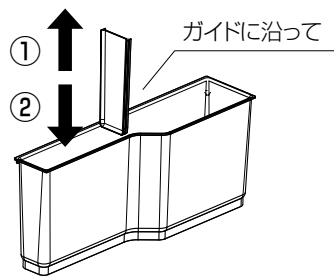
●収納ポケット



- ①外し方
真上に持ち上げ外します。
- ②はめ方
真下に下るしながら、アルミフレームガイドにツメを確実にはめ込みます。

●仕切り

加熱機器キャビネットには仕切りが付きません。



- ①外し方
真上に持ち上げ外します。
- ②はめ方
ガイドに沿ってはめ込みます。

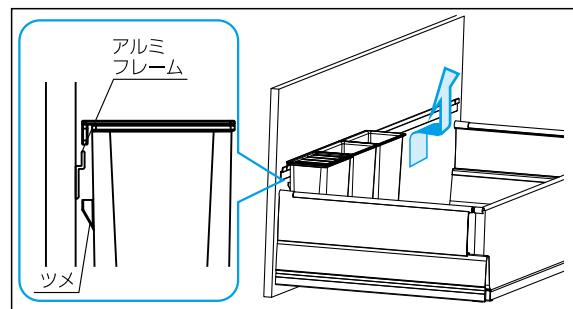
●包丁差し

外し方

包丁差しは収納ポケットとは異なり、外れ難い構造になっています。真上に持ち上げると、ツメがアルミフレームに当たりますので、引出し奥側に押しながら持ち上げてください。

はめ方

収納ポケット同様、アルミフレームに確実にはめ込みます。



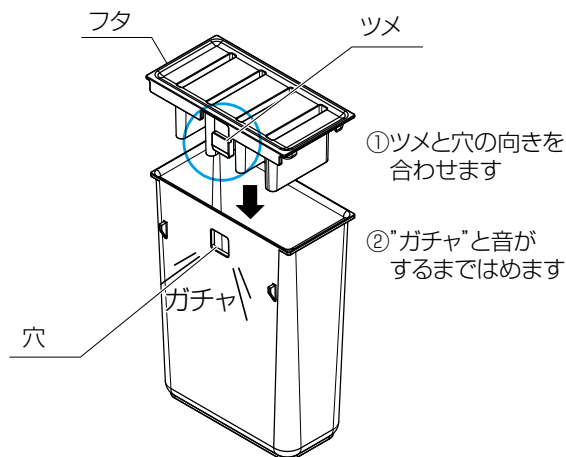
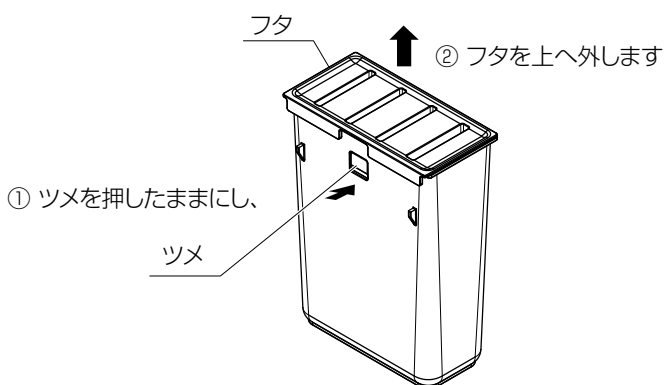
●包丁差しのフタ(外して洗えます)

外し方

包丁刺しのフタは、ツメを押しながら外してください。

はめ方

フタの向きを確かめ、「ガチャ」と音がするまではめこみます。



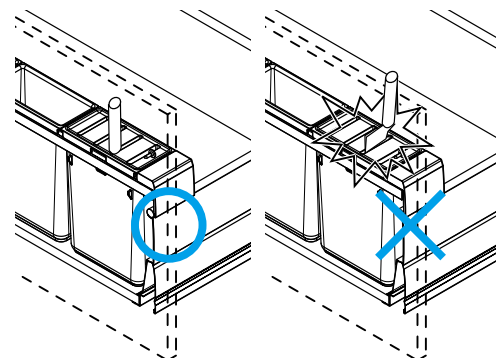
⚠ 注意



包丁は図のように正しく収納する。

不適切な入れ方をすると刃が収納部より飛び出したり刃先が引出し表面をキズつけるおそれがあります。

必ず実行



キャビネットまわり



厚みのある包丁を無理に収納しない。

取り出す際にポケットが外れて思わぬケガをするおそれがあります。

＜収納の目安＞

収納本数	刃の長さ	柄の長さ	刃の厚み
3本	20cm以下	14cm以下	0.3cm以下
1本			0.5cm以下

上記の目安内でも特殊な形状の包丁(和包丁、外国製包丁等)は収納できない場合があります。



包丁の放り込み、落とし込み禁止。

衝撃により、包丁や包丁差しが破損するおそれがあります。



包丁差しに包丁を納めるときは、刃先から入れ、正しく納まったか確認する。

落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。出すときもまっすぐ引き出してください。



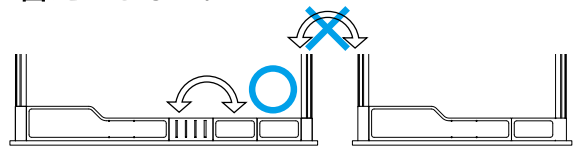
包丁差しポケットを外す場合は、必ず収納されている包丁を全て取り除いておこなう。

ケガをするおそれがあります。



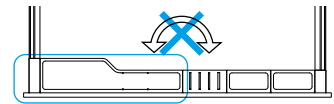
アシストポケットはキャビネットをまたいで入れ替えはしない。

正しく収まらないことがあります。そのまま引出しの開け閉めをすると、ポケットが外れて思わぬケガをするおそれがあります。



アシストポケット内の収納ポケット485の位置は動かさない。

正しく収まらないことがあります。そのまま引出しの開け閉めをすると、ポケットが外れて思わぬケガをするおそれがあります。



掃除などを行う際に、部品の端部などでケガをしないように注意する。

棚板

■棚板は収納物のサイズに合わせ動かさず。

- 調理台トレーボード2段引出しタイプの一番上の棚板位置は棚板の保管用です。下段引出しの収納高さを有効利用したい場合などは一番上の棚板位置を使用してください。

※使い方は、「棚板の動かし方」(→P.22)を参照してください。



棚板位置

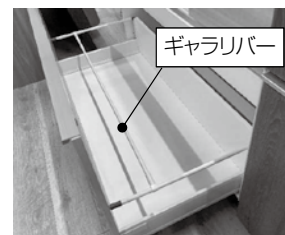


一番上の棚板位置

キャビネットまわり

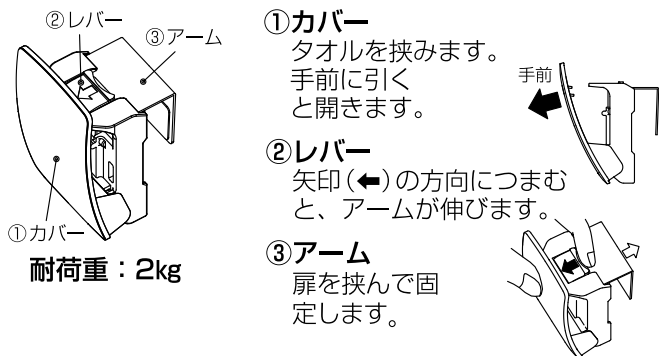
ギャラリバー

一部のキャビネットにはギャラリバーを付属しています。
ギャラリバーは背の高い収納物を仕切るのに使います。
収納物の大きさに合わせてお好みの位置にずらして使用してください。



タオルクリップ (オプション品)

■各部の名称とはたらき

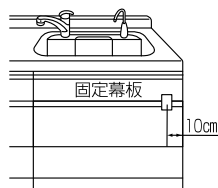


■取付位置

※扉の高さとタオルの長さによっては下の引出しを開閉する際にタオルを挟むことがあります。

●引出しタイプ

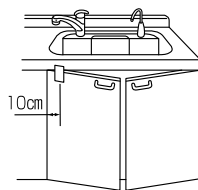
- ・シンクキャビネットの中段扉に取り付けてください。



●開き扉タイプ

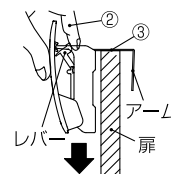
- ・扉上部に取り付けてください。
- ※扉の端から10cm程度はなれた位置に取り付けてください。それ以内の位置に取り付けますと、タオルが隣の扉に挟まれるおそれがあります。

※固定幕板には取付けできません。



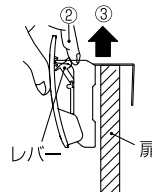
■取付け方

- ①扉を開けます。
- ②レバーをつまみます。
- ③扉とアームに隙間が無いように確実に取り付けます。
- ④扉を閉めます。



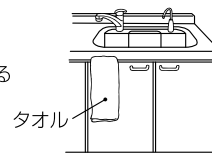
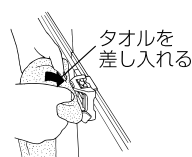
■外し方

- ①扉を開けます。
- ②レバーをつまみます。
- ③引き抜きます。
- ④扉を閉めます。



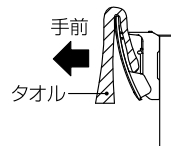
■使い方

図のようにタオルを挟んで使用してください。



タオルを取り外すときは手前に引き抜いてください。

タオルクリップが動いてしまった場合は元の位置に戻してください。



⚠ 注意



タオル掛け以外の目的で使用しない。

禁止



ぶら下がったり寄りかかったり、強い力を加えない。

禁止

部品が破損したり、思わぬケガをするおそれがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



絶対に分解しない。

禁止

破損や思わぬ事故が発生するおそれがあります。



加熱機器キャビネットなど火気を使用する周辺では使用しない。

禁止

熱による変形や、火災のおそれがあります。



必ず実行

キッチンの扉の表面に水滴が付いてしまった場合は、すぐに拭き取る。

扉のフクレ、汚れ、カビなどが発生するおそれがあります。



必ず実行

タオルがぬれてきたら、こまめに交換する。

扉のフクレ、汚れ、カビなどが発生するおそれがあります。



必ず実行







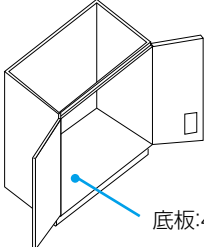
耐荷重内で操作する。

破損のおそれがあります。

キャビネットまわり

収納重量

種類により最大積載荷重が異なります。ご確認のうえ記載の最大積載荷重内で均等に収納してください。

ソフトモーション引出し  引出し：20kg	ソフトモーション引出し内引出し付き 内引出し：5kg  引出し：20kg	ローラーレール製引出し  引出し：13kg	ローラーレール(樹脂引出し)  引出し：10kg
ソフトモーション引出し棚板付き 棚板：20kg  引出し：20kg	アシストポケット引出し シェルフ：5kg アシストポケット内：5kg 引出し：25kg 	開き扉タイプ  底板：45kg	▼収納物の重量の目安 ざるセット(大・中・小) 約0.7kg ボウルセット(大・中・小) 約0.8kg 両手鍋 中 約1.2kg 両手鍋 大 約1.8kg 寸銅鍋 約2.5kg



最大積載荷重を超えない。一か所に集中して収納しない。
引出しが外れる、底が抜けるなどして思わぬケガをすることがあります。

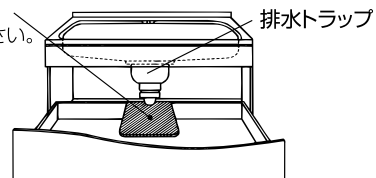
シンク下引出し

■トラップ下スペーサーが付属している場合



トラップ下スペーサーに物を置かない。
注意
トラップ下スペーサーに物を置いて閉めると、排水トラップや排水部品にぶつかり、キズが付いて、水漏れするおそれがあります。

トラップ下スペーサー上に物を置かないでください。



加熱機器の下引出しと横小引出し



ガスコック及びガス管に注意する。
注意
収納物がガスコックおよびガス管に干渉するとガス漏れするおそれがあります。
収納物の種類に注意する。
IH機器は、排熱温度により下側・横側の温度が高くなる場合があります。特に調味料・食品(醤油、みりん、調理酒)などは、温度により風味が落ちる可能性がありますので容器に記載された方法でご使用・保存してください。

食器洗い乾燥機の下引出し



熱の影響を受けやすいものは収納しない。
注意
食器洗い乾燥機の下引出しは排熱により高温になるおそれがあります。

キャビネットまわり

キッチンテーブル



お手入れしやすいメラミン製

キズや汚れに強いメラミンは、ダイニングテーブルに最適の素材です。汚れが染み込まないので簡単なお手入れできれいに使えて、食卓の美しさと清潔さを長く保てます。

注意



キッチンテーブルの上に乗ったり、座ったりしない。
破損して、ケガをするおそれがあります。

禁止



包丁をキッチンテーブルの上で使用しない。
変色・キズのつくおそれがあります。

禁止



キッチンテーブルの下でお子さまを遊ばせない。
頭などをぶつけてケガをするおそれがあります。

禁止



キッチンテーブルの上で火を使用しない。
扉の変形・変色、火災が発生するおそれがあります。

禁止



加熱機器をのぞき込んだり、ガラスパネルに
触れない。
やけどをするおそれがあります。

禁止



キッチンテーブルに強い衝撃を加えない。
ものが倒れて思わぬケガをするおそれがあります。

注意



必ず実行

パネルやキャビネットがぬれたらすぐに拭き取る。
膨れたり、変色するおそれがあります。



必ず実行

熱い鍋などをテーブルの上に直接置かない。
熱いものを置く場合は必ず鍋敷などを使用してください。
変色するおそれがあります。



注意

キッチンテーブルに硬く鋭利な金属や陶器など
をぶつけない。
表面にキズが入ることがあります。



注意

キッチンテーブルに重たい物を集中して置かない。
テーブルが破損するおそれがあります。



注意

ワークトップからの油はねに注意する。
やけどをするおそれがあります。

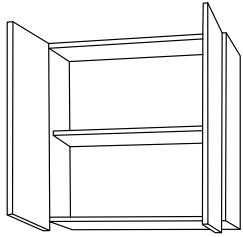


注意

いすを使用する場合は
パネルにぶつけないように注意する。
テーブルパネル表面がへこんだりキズのつくおそれがあります。

ウォールキャビネットまわり

・棚板は収納物のサイズに合わせ動かします。

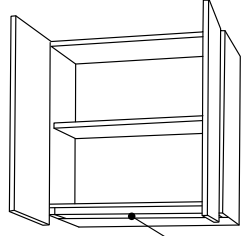
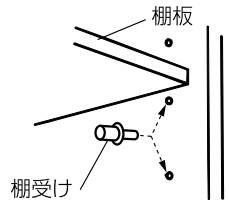


最大積載重量 60kgまで
(棚板・底板 1枚20kgまで)

開き扉

■棚板の動かし方

棚板は可動式となっております。
棚板を外し、棚受をお好みの位置に移動してください。
棚受けは隙間のないよう奥まで差し込んでください。



最大積載重量 60kgまで
(棚板・底板 1枚20kgまで)

照明付ウォールキャビネット

■蛍光灯の交換方法

照明カバーは、手前の化粧ねじを外すと取れます。新しい蛍光灯(指定ワット数のもの)を取り付けて、元通り照明カバーを付けてください。

LED照明は付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。



注意

照明器具に水をかけない。

照明器具に水がかからないようにしてください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。



注意

❗ 棚板の最大積載重量を守る。

必ず実行

間口の広い底板や棚板に重量物を多く収納すると、最大積載量を超え棚板や底板が変形するおそれがありますので最大積載重量をお守りください。



禁止

載せ過ぎたり、重たい物を一カ所に集中させない。

棚板やキャビネットが変形するおそれがあります。
重たい物や倒れやすい物はキャビネットの下(棚板の下)に収納してください。



注意

棚板をセットする時に棚ダボと棚板の間に指が挟まらないように注意する。

指を挟んでケガをするおそれがあります。

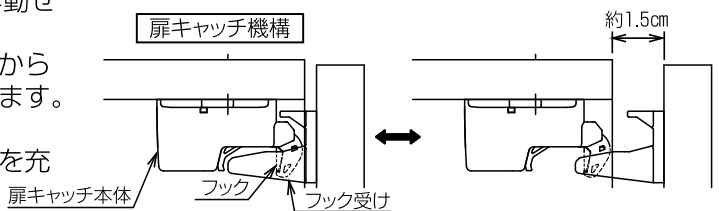
▼収納物の重量の目安

ボウル	直径20cm	約0.3kg
雪平鍋	直径18cm	約0.5kg
片手鍋	直径18cm	約1.0kg
両手鍋	直径23cm	約1.2kg
フライパン	直径26cm	約1.0kg
天ぷら鍋	直径23cm	約1.0kg
土鍋	直径28cm	約2.5kg
茶碗	直径12cm	約0.2kg
皿	直径23cm	約0.5kg

扉キャッチ機構付ウォールキャビネット

扉キャッチ機構は、地震が発生した際にキャッチ本体が揺れを感知するとフックが下がった状態で固定され、キャビネット内部の収納物が落下するのを防止します。

- 通常の使用(扉の開閉)においては扉キャッチ機構は作動せずロックはかかりません。
- ロックした場合は、扉を一旦閉め、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは解除されます。
- 扉の開閉は、力を入れず優しく行ってください。
- 扉キャッチ機構は、建物の構造や階数によって、性能を十分に発揮しない場合があります。



注意



禁止

取り外したり、分解しない。

取外したりすると、正常に作動しなくなるおそれがあります。



禁止

不安定な積み重ねや、詰め込み過ぎはしない。

微妙な揺れで倒れることがあります。
また、倒れた状態で扉を開けると物が落下することがあります。



禁止

手前に小物を収納しない。

扉はロックがかかっても約1.5cm程度開きますので、落下するおそれがあります。



必ず実行

扉キャッチ本体に汚れや水滴が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。



注意

頭をぶつけない。

思いがけないケガをするおそれがあります。



オートダウンウォール

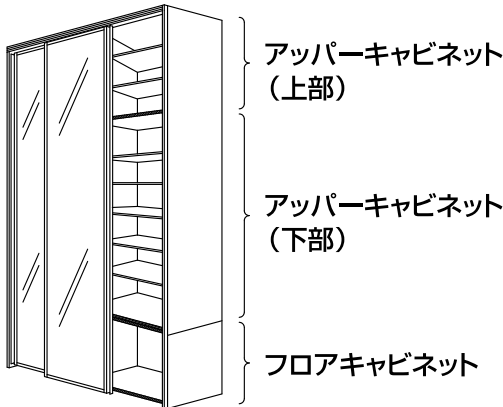
ご使用方法などにつきましては専用の取扱説明書をお読みください。

●オートダウンウォールのインナーキャビネット停止位置と扉の開き角度は、個体および収納状態により若干異なります。

収納ユニットまわり

スライディングドアストッカー

大型スライドドアでクローゼットのように上から下まで見渡せ、必要なものが一目で見つかります。



	名称	最大積載重量	用途	注意事項
キャビネット (上部)	棚板 仕切板	20kg / 1枚	使用頻度の低い調理器具、食器ストック(箱入り)、季節物。(重箱、おとそセット)	最大積載重量を守り、重たい物を1カ所に集中させないで、平均して載せてください。
キャビネット (下部)	棚板 底板	20kg / 1枚	一般的な収納棚として使用してください。	平皿などを積み重ねたり、重たい物を詰め込むことは避けてください。
キャビネット (フロア)	底板	20kg / 1枚	重量物の収納として。(缶詰、調味料など)	

注意



強い力で大型スライドドアを開けない。
アームやストッパーを破損するおそれがあります。



大型スライドドアの開け閉めは、上・下をもたないで中央付近をもって開け閉めを行ってください。



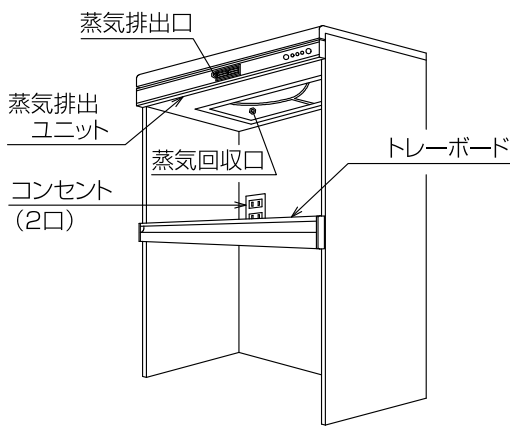
大型スライドドアを開ける時、反対側に物が無いことを確認する。
物があって扉を開けると、物が倒れるおそれがあります。



扉の開閉時に指を挟まない。
扉の開閉時に指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまにはご注意ください。

家電収納・蒸気排出ユニット付(吸込み式)

蒸気排出ユニットは家電製品(炊飯器・ポット・コーヒーメーカー)から出る蒸気を収納庫外へ排出するユニットです。



- 家電製品の電流を検知して自動で運転を開始します。手動運転も可能です。
- 家電製品がトレーボードからはみ出さないように設置してください。
- 準備をしたり、盛り付けをするときは、スライド式のトレーボードを手前に引き出します。
- その他、蒸気排出ユニットについては、**専用の取扱説明書**を必ずお読みください。

■ 収納可能な家電製品

- 電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー (その他の家電製品は使用できません。)

注意



ガス炊飯器は設置しない。
火災の原因となります。
電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。



コンセント使用時は表示電力を超えない。
発熱により火災の原因となります。



家電製品の蒸気穴の位置を蒸気回収口に合わせる。

蒸気を正常に収納庫外へ排出するために炊飯器・電気ポットなどの蒸気穴の位置を蒸気回収口の真下になるように合わせてください。
結露するおそれがあります。
結露したらすぐに布などで拭き取ってください。

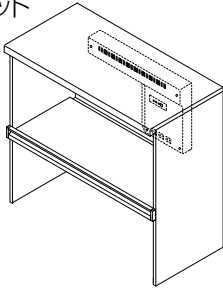
収納ユニットまわり

家電収納・蒸気排出ユニット付（送風式）

蒸気排出ユニットは家電製品（炊飯器・ポット・コーヒーメーカー）から出る蒸気を収納庫外へ排出するユニットです。

付属の専用取扱説明書を必ずお読みください。

蒸気排出ユニット



- ・準備をしたり、盛り付けをするときは、スライド式のトレーボードを手前に引き出します。
- ・家電製品は送風口がある範囲で中央寄りにおいて使用してください。

■収納可能な家電製品

- ・電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー（その他の家電製品は使用できません。）

⚠ 注意



ガス炊飯器は設置しない。

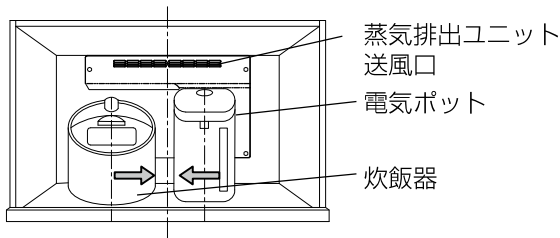
火災のおそれがあります。電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。



必ず実行

家電製品は送風口がある範囲で中央寄りにおいて使用する。

横や後ろに寄せて使用すると、湿気や湯気がスムーズに排出されず、結露することがあります。結露したらすぐに布などで拭き取ってください。



中央寄りに設置してください



コンセント使用時は表示電力を超えない。

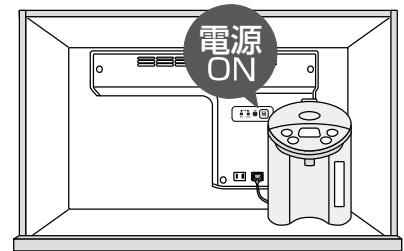
発熱により火災のおそれがあります。



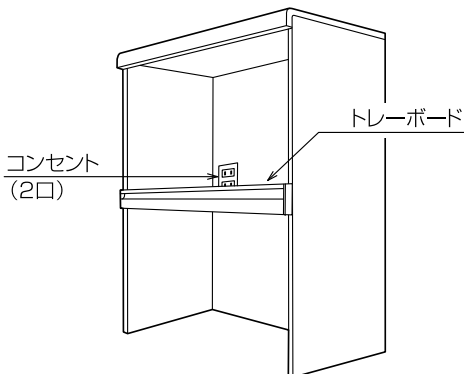
必ず実行

炊飯器や電気ポットなどの蒸気が出る電化製品を使用するときは、必ず蒸気排出ユニットを「電源をON」にしてください。

送風口から送風空気を出し、収納庫の内部の結露を防ぎます。



家電収納・蒸気排出ユニットなし



ガス炊飯器は設置しない。

火災の原因となります。電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー以外は使用できません。



コンセント使用時は表示電力を超えない。

発熱により火災が発生するおそれがあります。



必ず実行

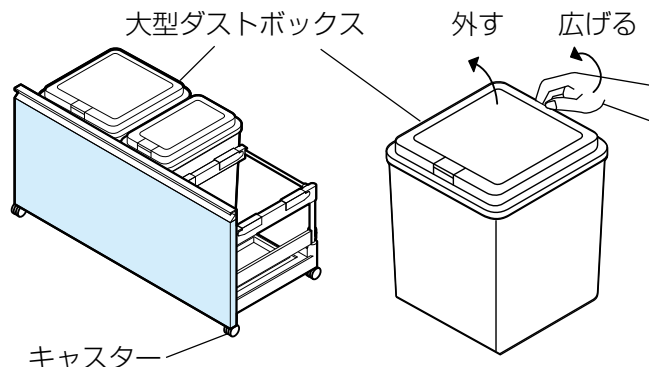
家電製品を使用する時は、必ずスライド式のトレーボードを引き出して使用する。

収納庫内に蒸気がこもったまま使用すると、キャビネットの変形、またはコンセントのショートにより火災のおそれがあります。

収納ユニットまわり

ダストワゴン

- ・定期的にワゴンのキャスターを清掃してください。ゴミが付着していると動きが悪くなりキズつける恐れがあります。
- ・大型ダストボックスの蓋を取り外す際は蓋の後ろを広げて取り外してください。



⚠ 注意



床の材質によってキャスター跡が付くおそれがあります。
気になる場合は、樹脂マットなどを敷いてください。

注意

サンウォール

⚠ 注意



パネルに過度な衝撃を与えない。
特に硬い物をぶつくとパネルが破損するおそれがあります。

禁止



加熱機器使用時には、パネルに直接高温の水蒸気が当たらないようにする。
パネルが変色するおそれがあります。

禁止



表面にシールや粘着テープ、吸盤を貼り付けない。
シールや粘着テープ、吸盤をはがす際にパネルの表面がはがれるおそれがあります。

禁止



タオル掛けなどを両面テープや接着剤を使用して貼り付けない。
タオルを交換する際にパネルの表面がはがれるおそれがあります。

禁止



パネルに直接炎を当てない。
パネルが焦げたり変色するおそれがあります。

禁止



パネルの表面を清掃する際に、シンナーなどの溶剤を使用しない。
パネルが変質したり変色するおそれがあります。

禁止



パネルの表面を清掃する際に、タワシや研磨剤入りのスポンジを使用しない。
パネルの表面にキズがつくおそれがあります。また、清掃用具の金属粉や研磨剤が付着して汚れるおそれがあります。

禁止



汚れや洗剤が付着した場合は、速やかに拭き取る。

必ず実行

汚れや洗剤の種類によっては清掃後も汚れが残る場合があります。また、パネル表面やコーキング部分で汚れ方が異なる場合があります。

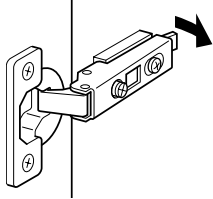
長くお使いいただくために・調整方法

扉の調整・外し方

扉の取外し方

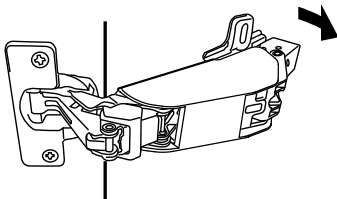
標準扉の場合

レバーを引いて外す



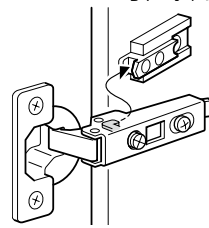
コーナーキャビネット用扉の場合

レバーを引いて外す

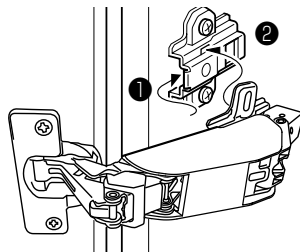


扉の取付け方

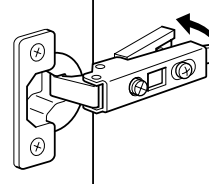
標準扉の場合 引っ掛ける



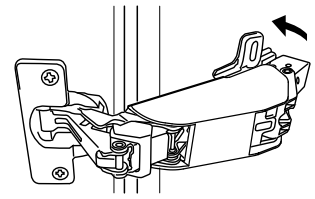
コーナーキャビネット用扉の場合



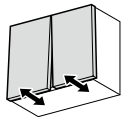
「カチッ」と音がするまで押し込む



③ 「カチッ」と音がするまで押し込む

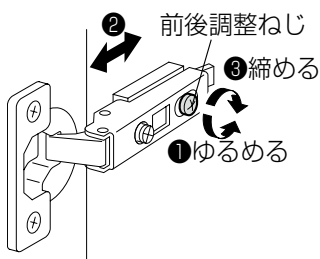


前後調整

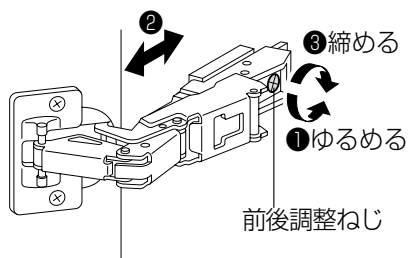


- ① 該当ねじをゆるめます。
- ② 受け金を前後に動かし、扉を適切な位置に調整します。
- ③ ねじをしっかりと締めつけます。

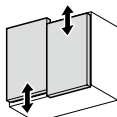
標準扉の場合



コーナーキャビネット用扉の場合

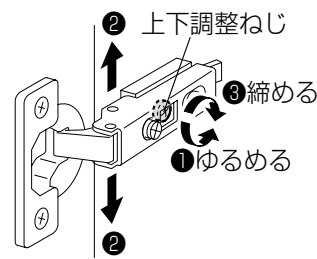


上下調整

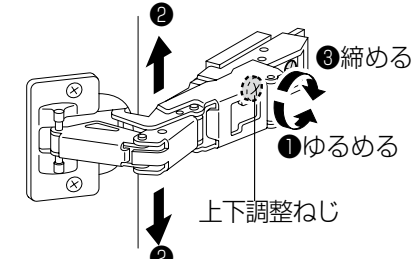


- ① 該当ねじをゆるめます。
- ② 受け金を上下に動かし、扉を適切な位置に調整します。
- ③ ねじをしっかりと締めつけます。

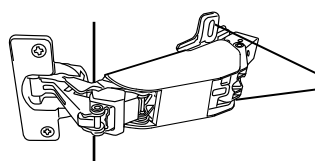
標準扉の場合



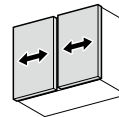
コーナーウォールキャビネット用扉の場合



コーナーフロアキャビネット用扉の場合

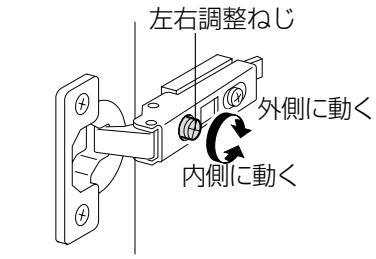


左右調整

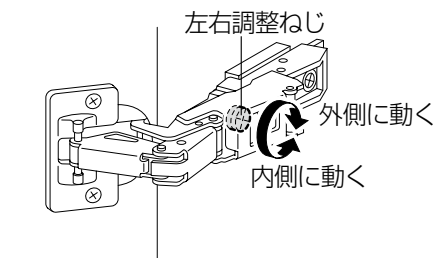


- 該当ねじを回すと、連動して扉が動きます。

標準扉の場合



コーナーキャビネット用扉の場合



座のねじ(2か所)を緩めて上下調整を行う



扉調整後は、全ての丁番のねじが締め付けられていることを確認してください。

必ず実行

- 扉キャッチ機構付ウォールキャビネットの扉調整の場合は、扉キャッチの動作を確認しながら行ってください。扉を閉めたとき、扉裏面のフック受けが扉キャッチ本体のフックに掛かる位置か確認してください。

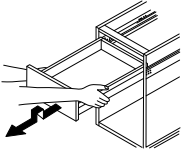
長くお使いいただくために・調整方法

引出し・鏡板の調整・外し方

ソフトモーションレール製引出しタイプの調整方法

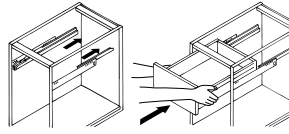
■引出しの取外し方

引出しを全開にし、いちど少し上に持ち上げてから引いてください。



■引出しの取付け方

引出しをレールにのせ、そのままキャビネットの中へ押し込みます。
“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。

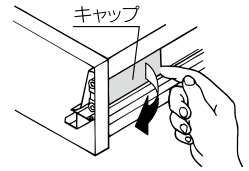


引出しの取外し、取付けをするときは、引出しの手前側を持ち、手の位置に注意する。

注意 思いがけないケガをするおそれがあります。

■キャップの着脱方法

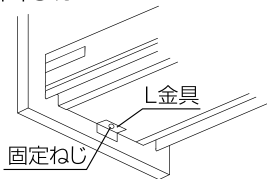
キャップを指で引っ掛けて取り外します。



■鏡板の左右・上下・あおり調整

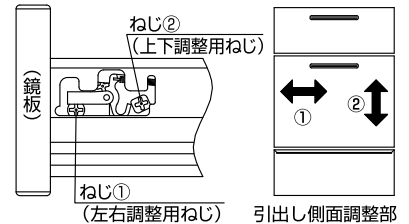
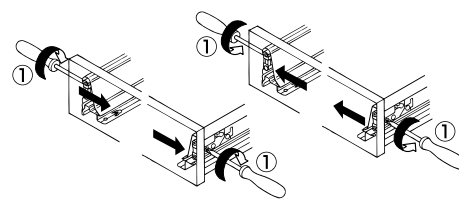
1. L金具の着脱方法 (間口60cm以上の場合)

間口60cm以上の引出しは調整する前にL金具の固定ねじをゆるめてください。調整後、締め付けてください。



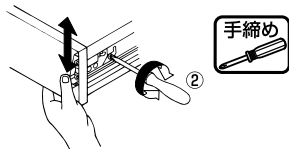
2. 左右の調整方法

図のねじで左右調整をしてください。



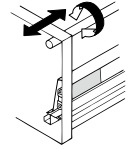
3. 上下の調整方法

図のねじで上下調整をしてください。



4. 前板の傾きの調整方法

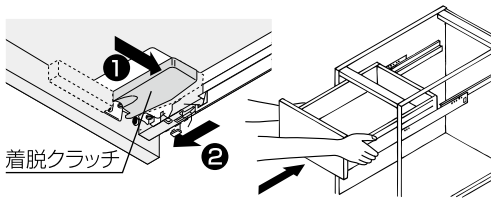
サイドギャラリーを回して調整します。



木製引出しタイプの調整方法

■引出しの取外し方

- ①着脱クラッチのレバーをにぎります。
- ②引出しを手前に引きながら外します。



■引出しの取付け方

引出しをレールに載せ、そのままキャビネットの中へ押し込みます。“カチャ”という音で正しく入ったか確認できます。

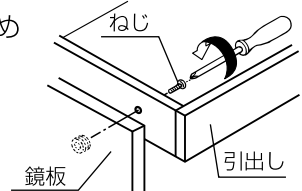


引出しの取外し、取付けをするときは、クラッチ部を持ち、手の位置に注意する。

注意 思いがけないケガをするおそれがあります。

■鏡板の左右・上下調整方法 (木製引出しのみ)

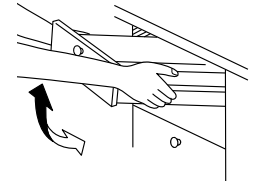
- ①鏡板を支えながら、鏡板固定ねじをゆるめめます。
- ②鏡板を動かします。(上下・左右に±0.2cm調整できます。)
- ③鏡板固定ねじを締め付けます。



プラスチック製引出しタイプの調整方法

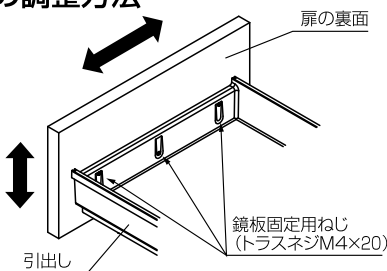
■引出しの取外し、取付け

完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引き出して外します。取付けは取外しの逆の操作をしてください。



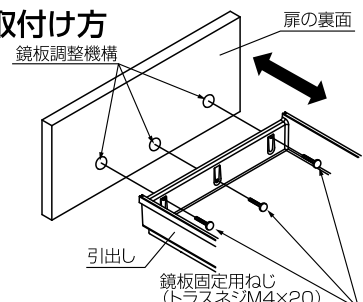
■鏡板の左右、上下の調整方法

- ①鏡板を支えながら、鏡板固定ねじをゆるめめます。
- ②鏡板を動かします。(上下・左右に±0.2cm調整できます。)
- ③鏡板固定ねじを締め付けます。



■鏡板の取外し方、取付け方

- ①鏡板固定ねじを外すと鏡板が外れます。
- ②引出し側の穴と鏡板に埋め込まれている鏡板調整機構を合わせて鏡板固定ねじで固定します。



⚠ 注意



作業は必ず手締めでおこなってください。
ねじバカにすると鏡板の調整・着脱ができなくなります。



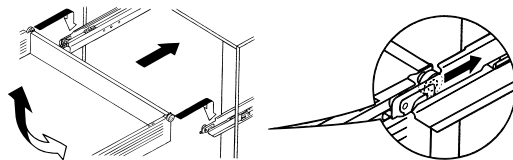
必ず実行

長くお使いいただくために・調整方法

ローラーレール製引出しタイプの調整方法

1. 引出しの取外し、取付け

完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引き出して外します。取付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。

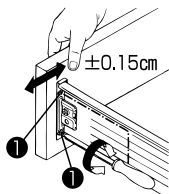


2. 鏡板の左右・上下調整および脱着方法

〔引出し鏡板の調整〕

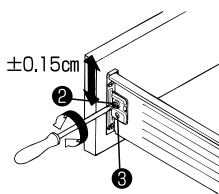
■左右調整

①のねじ（左右）をゆるめると左右に鏡板が動きます。



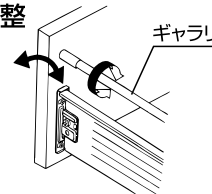
■上下調整

②のねじをゆるめ、③のねじを回すと、上下に鏡板が動きます。調整後②のねじをしめます。



■鏡板のあおり調整

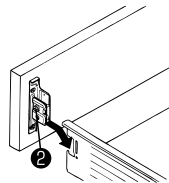
ギャラリーを左右に回しあおりを調整してください。



〔鏡板の脱着方法〕

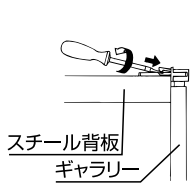
■鏡板の取外し

②のねじ（左右）をゆるめて鏡板を取り外してください。

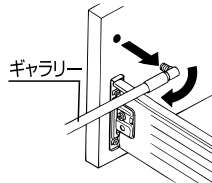


■ギャラリーの取外し

スチール背板に引掛けているギャラリーのツメをマイナスドライバーで外してください。



ギャラリーを図のように折り曲げ、ギャラリーを取り外してください。



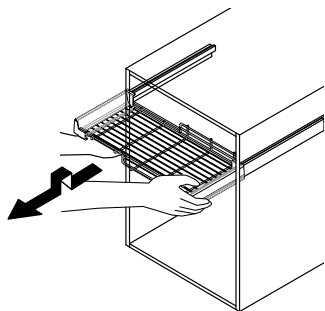
スライド式の扉タイプの調整方法

調整が必要な場合は「修理受付センター」までご連絡ください。

アシストシェルフの取外し方、取付け方

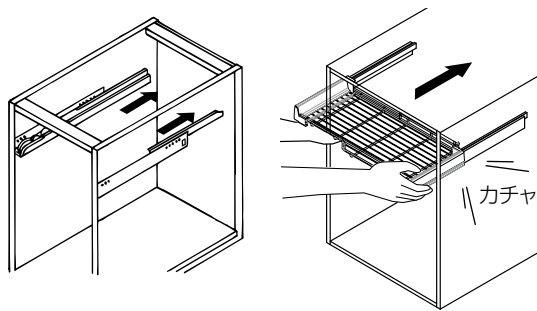
■取り外し方

引出しを全開にし、いちど少し上に持ち上げてから引いてください。



■取付け方

引出しをレールに乗せ、そのままキャビネットの中へ押し込みます。"カチャ"という音で正しく入ったか確認できます。

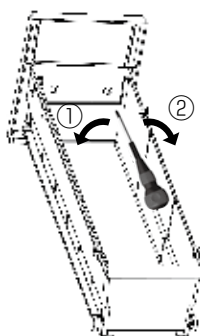


引出しの取外し、取付けをするときは、引出しの手前側を持ち、手の位置に注意する。

注意

思いがけないケガをするおそれがあります。

ガス小引出しタイプの調整方法



①ねじをゆるめて鏡板を調整します。
※ねじを完全に外す必要はありません。

②調整後、ねじを締め付けます。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

汚れの種類と発生部位

はじめに ～ 汚れとお手入れ方法 ～

汚れは
こまめに落としましょう!

ついでにすぐなら弱い洗剤・弱い力で落とせます。
こびり付いてしまった**水アカ**を取るには削るしかありません。
そうならないよう、日々のお手入れにクエン酸入りの洗剤を使うと予防になります。
拭きあげれば完璧!

◎ 汚れと材質に合った洗剤と用具を選びましょう!

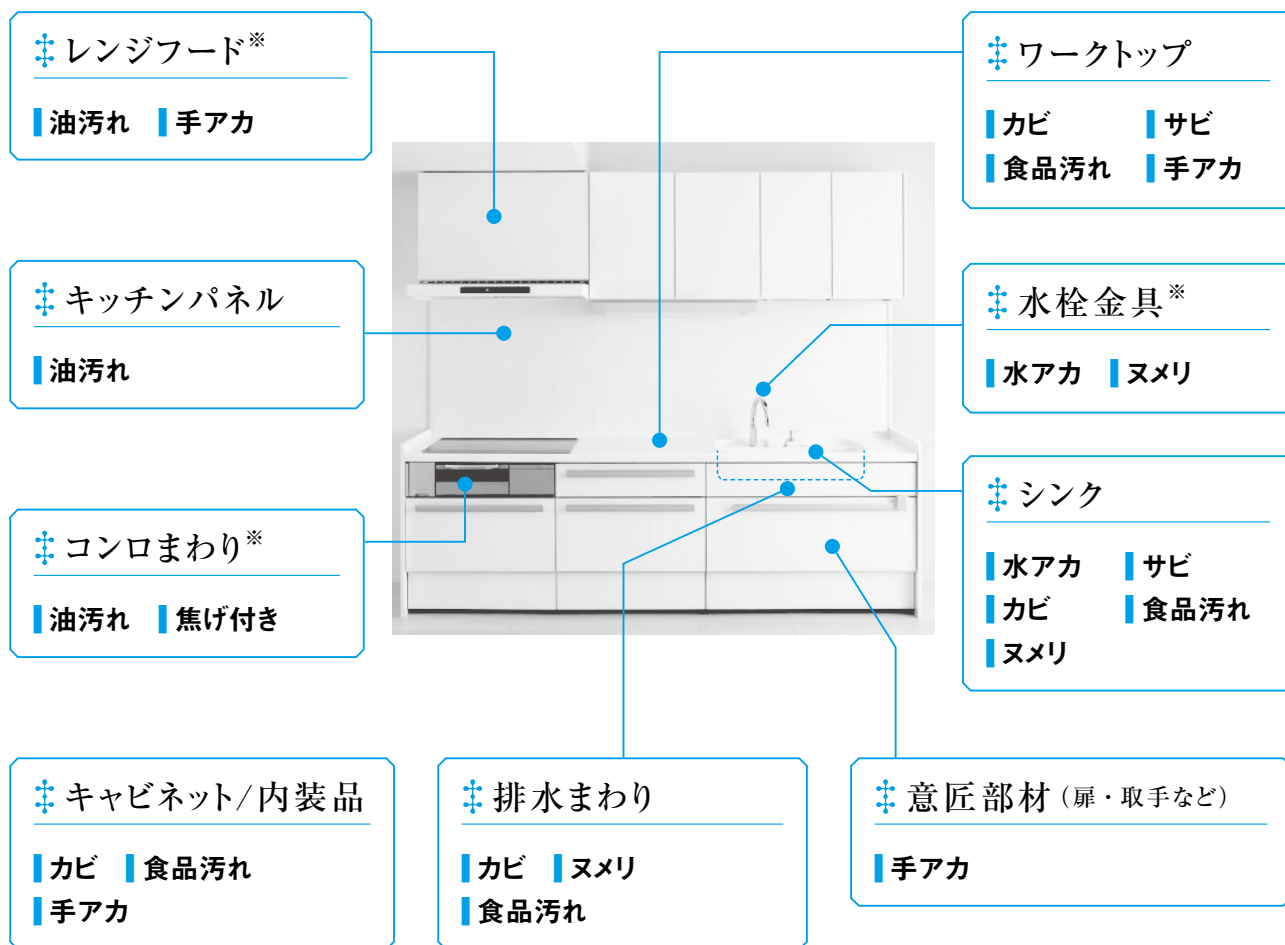
油にはアルカリ性洗剤、水アカには酸性洗剤。
材質が傷つかない用具を選び、**目立たない所**から。

◎ 基本を押さえましょう!

洗剤も力も**最初は弱く**(優しく)、だんだん強く。
一度で落とせなかった汚れは、洗剤や力を強くする前にもう一度同じ作業を**繰り返して**。

主な汚れと部位

まずはどんな汚れが把握しましょう。



※取り扱いやお手入れ方法は各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

使用できる用具や洗剤は素材や場所によって若干異なります。詳細については次の「用具と洗剤」のページをご覧ください。


キッチンまわりの3大汚れ

水アカ

水道水に含まれるケイ酸やカルシウムが次第に蓄積したものです。放置すると水に溶けない頑固な汚れに。

- 毎日** 食器を洗うついでにシンクもさっとひと洗い。
- こびり付き**
1. 洗剤をスポンジにつけて軽くこすり、水で流す。※
 2. くもりが残っていたら、クリームクレンザーでこすり、水で流す。※
 3. 水栓まわりは、仕上げに水分を拭きあげる。※水で流せない場所は、十分に水拭きし、水分を拭きあげる。

TOOLS



台所用洗剤 住宅・家具用洗剤
クリームクレンザー
スポンジ
柔らかい布

グループ3の人造大理石トップ(*1)、コート付きシンクの場合は、クリームクレンザーは使えません。シンクのお手入れ方法→P.35
*1:ブラックストーン(BK)、ブラウンストーン(BN)


シンクにはクエン酸入り洗剤がおすすめ。ステンレスをクレンザーでこするときは、ほかすように!

カビ

適度な湿気と温度により食品汚れや石けんカスから発生。

- 毎日** 調理後はしっかり水気を拭き取り、換気をする。
- こびり付き**
1. 泡タイプの漂白剤を黒ずんだ部分にスプレーし、1分程度放置する。
 2. 洗浄成分が残らないようによく水洗いし、水分を拭きあげる。
 3. 汚れが落ちない場合は1~2を数回繰り返す。

TOOLS



台所用漂白剤
柔らかい布
歯ブラシ/タワシ

コーキング部分では歯ブラシやタワシは使用禁止。キズがついてカビが生えやすくなります。

お手入れ後は消毒用エタノールでさっと拭くとカビ防止に!

注意 塩素系の漂白剤とエタノールを同時使用すると塩素ガス発生危険があります。必ず漂白剤をよく洗い流した後に実施してください。

油污れ

べっとりと厚く固まった汚れは、付着した油が空気に触れて、酸化・樹脂化したもの。

- 毎日** ついたらすぐにお湯で拭き取る。
- こびり付き**
1. 割り箸/木べらなどでこびり付いた汚れをこそげ落とす。
 2. キッチン用弱アルカリ性洗剤をスプレーする。
 3. キッチンペーパーを貼り付け、その上から2の洗剤をさらにスプレーする。
 4. 5~15分置いて汚れが浮いてきた所をスポンジや歯ブラシで落とす。
 5. 洗剤成分が残らないようによく水洗い、または十分に水拭きし、水分を拭きあげる。

TOOLS



弱アルカリ性洗剤
木べら
キッチンペーパー
歯ブラシ

その他の汚れ

ヌメリ

残さいなどのゴミが長時間滞留することにより腐敗が生じ、ヌメリが発生。

- 毎日** ヌメリに気付いたら台所用洗剤で洗い落とす。
- こびり付き**
- 頑固な汚れは歯ブラシなどでこすり落とす。ひどい汚れは泡タイプの漂白剤をスプレーして放置後、ヌルつきがなくなるまで十分に水で洗い流す、または十分に水拭きし、水分を拭きあげる。

TOOLS



台所用洗剤 住宅・家具用洗剤
台所用漂白剤
スポンジ
歯ブラシ
柔らかい布
塩素系ヌメリ取り剤

塩素系ヌメリ取り剤は腐食の原因になるので使用禁止。

食品汚れ

しょう油など塩分の高いものを付着したまま放置するとサビの発生原因に。

- 毎日** 汚れが固まる前に拭き取って十分に水拭き、または水で洗い流す。
- こびり付き**
- 【茶しぶなどの着色汚れ】**
1. 泡タイプの漂白剤を汚れ箇所にスプレーし、1分程度放置する。
 2. 漂白剤成分が残らないようによく水洗い、または十分に水拭きし、水分を拭きあげる。
 3. 汚れが落ちない場合は、1~2を数回繰り返す。

TOOLS




台所用漂白剤
スポンジ
柔らかい布

もらいサビ

ぬれたままの包丁や、缶、ビンのフタ、金属タワシなどを長時間放置したためサビが発生し付着したものです。

- こびり付き**
- スポンジにクリームクレンザーをつけてこすり落とし、水で洗い流す、または十分に水拭きし、水分を拭きあげる。

TOOLS



クリームクレンザー
台所用漂白剤
スポンジ
柔らかい布
金属タワシ

グループ3の人造大理石トップ(*1)、コート付きシンクの場合は、クリームクレンザーは使えません。・ステンレスシンク(デュアルコート付) →P.35
*1:ブラックストーン(BK)、ブラウンストーン(BN)

焦げ付き

ふきこぼれた煮汁や油などが熱によって炭化したもの。

- 毎日** 温かいうちに拭き取る。
- こびり付き**
- 丸めたラップや歯ブラシにクリームクレンザーをつけてこそげ落とし、水で洗い流す、または十分に水拭きし、水分を拭きあげる。

TOOLS



クリームクレンザー
丸めたラップ
歯ブラシ
柔らかい布
金属タワシ

手アカ

手についた油分がステンレスや取手・扉に付着して、くもりが残る。

- 毎日** 手アカに気付いたら都度柔らかい布で水分を拭きあげる。
- こびり付き**
- スポンジなどに洗剤を含ませ軽くこすり落とす。仕上げは乾いた布で水分を拭きあげる。

TOOLS



住宅・家具用洗剤
スポンジ
柔らかい布

長くお使いいただくために・お手入れ方法

用具と洗剤

これだけは守ってほしい! お約束

用具・洗剤のご使用は、用具・洗剤に記載の使用上の注意に従ってください。
守らないと、材質を傷めたり、かえて汚れがこびり付く可能性があります。






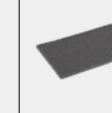

◎ 用具は硬さを確認してください。

◎ 洗剤は濃度と時間を守ってください。

用具

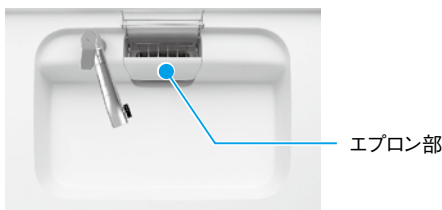
スポンジは水を含ませてご使用ください。
乾いた状態で使用すると、材質にキズをつけることがあります。
(柔らかい布は除く)

柔らかい ←————→ 硬い

		柔らかい布 (メガネ拭きで使用するような布)	ウレタン スポンジ (スポンジ部)	ネット スポンジ	ナイロンタワシ 研磨粒子なし	メラミン スポンジ	ナイロンタワシ 研磨粒子あり	金属タワシ
			 研磨粒子部分は使わない					
ワーク トップ	ステンレス	●	●	●	●	●	×	×
	人造大理石	●	●	●	●	●	×	×
	人造大理石 (グループ3)*4	●	●	●	●	▲	×	×
シンク	ステンレス [コートなし]	●	●	●	●	●	×	×
	ステンレス [コート付き*1]	●	●	●	×	△	×	×
	人造大理石 エプロン部*2	●	●	●	●	●	●	×
他	ゴミカゴ(抗菌コーティング)	●	●	●	×	×	×	×
扉・ 取手	扉・化粧パネル	●	×	×	×	×	×	×
	取手	●	×	×	×	×	×	×

*1: ステンレスのコーティングは「デュアルコート」です。

*2: エプロンの材質は、シンクと同一ではありません。



*3: コートの有無はP8・9を参照してください。

また、シンクの注意シールをご確認ください。

*4: ブラックストーン(BK)、ブラウンストーン(BN)

●: ご使用できます。

△: ご使用できますが強くこするとコーティングがはがれるおそれがあります
メラミンスポンジには必ず水や洗剤を含ませ、周囲となじませるように優しくなできるようにしてください。

▲: ご使用できますが、強くこすると周囲とツヤの違いが生じるおそれがあります。
メラミンスポンジには必ず水や洗剤を含ませ、周囲となじませるように優しくなできるようにしてご使用ください。

×: ご使用できません。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

洗剤








洗剤お掃除ここがポイント!

OK : 指定の濃度と時間で洗浄 ⇒ すすぐを繰り返す

NG : 洗剤の濃度を上げる・時間を長くする

洗剤は、パッケージを確認のうえ、目的に合ったものをお選びください。

食器用洗剤は流水で流せない部位のお手入れにはご使用できません。水拭きしても洗剤分が残りますため、材質を傷めるおそれがあります。

品名※	台所用洗剤		住宅・家具用洗剤	クレンザー	
	食器用	台所まわり用	食卓用・家具用	クリームクレンザー	粉末クレンザー
パッケージ表示例	弱酸性～弱アルカリ性	弱アルカリ性	中性～弱アルカリ性	弱アルカリ性	弱アルカリ性
液性	弱酸性～弱アルカリ性	弱アルカリ性	中性～弱アルカリ性	弱アルカリ性	弱アルカリ性
用途※	汚れ落とし	油汚れ・水アカ ヌメリ・除菌・消臭	汚れ落とし 除菌	こびり付いた汚れ 油汚れ・水アカ	しつこい汚れ 油汚れ
特長 (備考) 商品のパッケージは変わることがあります。	十分な流水で流せる部位でご使用できます。水アカ予防は弱酸性が有効です。 	流水で洗い流せない部位でもご使用できます。水拭きが必要です。 	あらゆる場所の日常のお掃除でご使用できます。 	細かい粒子が汚れをかき落とします。 	液体クレンザーよりも粒子が粗く強い研磨力で落とします。 
ワークトップ	ステンレス	●	●	●	×
	人造大理石	×	●	●	×
	人造大理石 (グループ3)*4	×	●	●	×
シンク	ステンレス [コートなし]	●	●	●	×
	ステンレス [コート付き*1]	●	●	●	×
	人造大理石 エプロン部*2	●	●	●	×
他	ゴミカゴ (抗菌コーティング)	●	●	●	×
扉・取手	扉・化粧パネル	×	×	●	×
	取手	×	×	●	×

*1・*2・*4はP.32を参照してください。

※品名・用途はメーカーによって多少表記が異なることがあります。

● : ご使用できます。

× : ご使用できません。

強力洗剤

- 扉・取手にはご使用できません。
- ワークトップやシンクでご使用できますが、洗浄成分が残らないようにしてください。ご使用後はすぐに拭き取って十分に水拭きする、または水で洗い流してください。

ゴム手袋をご使用ください。



台所用漂白剤
塩素系
(アルカリ性)



ふきん・まな板の除菌、食器の茶しび取りなどに使用します。

- カビ
- 食品汚れ

台所まわり
合成洗剤
(弱アルカリ性)



ベタベタ汚れや排水管の洗浄などに使用します。

- 油汚れ
- ヌメリ

住宅用合成洗剤
住宅用強力洗剤
(アルカリ性)



コンロ・レンジフードなどのしつこい油汚れに使用します。

- 油汚れ

排水パイプ用洗剤
塩素系
(アルカリ性)



排水口と排水管のヌメリや詰まりを取るときに使用します。

- ヌメリ

長くお使いいただくために・お手入れ方法

⚠ 注意 (共通)

- ❌ 金属タワシ・研磨材入りのスポンジ・粒子の粗いクレンザーを使用しない。
目には見えない細かいキズをつけます。
- ❌ 塩酸などの酸性薬品やアルカリ性薬品、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しない。
サビや変色・変質のおそれがあります。
- ❗ 各種洗剤は使用上の注意を必ず守る。
また、使用後は水道水で十分に洗い流す。
変色・変質のおそれがあります。

- ❗ メラミンスポンジは、水や洗剤を含ませ、優しくなるように使用する。
同じ場所を何度も強くこすると、材質を傷めるおそれがあります。特に、グループ3の人造大理石トップは強くこすると周囲とツヤの違いが生じるおそれがあります。
- ❗ メラミンスポンジやナイロンタワシなどを使用するときは、軽い力で円を描くように均一に研磨する。
同じ箇所を研磨すると、キズがついたり、へこみの原因になります。
- ❗ クレンザーを使用するときは、状況を見ながら拭く。
クレンザーには研磨材が入っているため、一部だけ拭き過ぎると光沢が変わることがあります。クレンザーを使用できないもの(グループ3の人造大理石トップ、コート付きシンクなど)がありますので、ご注意ください。

ワークトップ

//////////////////// 日ごろのお手入れ (ステンレス/人造大理石共通) //////////////////////

TOOLS



柔らかい布



柔らかいスポンジ 住宅・家具用洗剤



1. 布またはスポンジに、住宅・家具用洗剤をつけて汚れを落とす。
2. トップに残った洗剤を、固く絞った布で拭き取る。
3. 水分を拭きあげる。

//////////////////// 頑固な汚れ //////////////////////

P.31を参照してください。

//////////////////// キズの補修方法 //////////////////////

■グループ3の人造大理石トップ (ブラックストーン、ブラウンストーン) 以外

補修をはじめる前に、あらかじめ目立たない所でお試ください。

試してうまくいかない、わからないことがある場合は、お買い上げの販売店またはお客さま相談センターへご連絡ください。

1. 目の粗い400番のサンドペーパーでキズが消えるまで磨く。
2. 順次、目の細かい800番→1000番のサンドペーパーで磨く。
3. スポンジに住宅・家具用洗剤を付けて軽く円を描くように磨く。
4. 仕上げに、水拭きをしてから乾いた布で水分を拭きあげる。
※サンドペーパーを使用した部分は、他の部分と光沢が変わります。スポンジかナイロンタワシにクリームクレンザーを付けて、カウンター全体を磨くと光沢感が合わせられます。
※キズのお手入れをした場合、未修正部に色目が合わなくなる可能性がありますのでご注意ください。
※キズの補修後は汚れが付きやすくなりますのでご注意ください。

■グループ3の人造大理石トップ (ブラックストーン、ブラウンストーン)

お買い上げの販売店またはお客さま相談センターへご連絡ください。

⚠ 注意 (ワークトップ)

- ❌ ワークトップとシンクの接合部をお手入れするときは、金属タワシなどの硬い素材を使用しない。
漏水するおそれがあります。
- ❌ グループ3の人造大理石トップ(ブラックストーン、ブラウンストーン)には研磨粒子入りの洗淨具(クレンザー、研磨粒子入りのナイロンタワシ、サンドペーパー)を使用しない。
周囲とのツヤの違いが生じ、白っぽくなります。
- ❗ アルコール使用時はペーパータオル等にアルコールを含ませて拭く。
アルコールを噴霧し、自然乾燥させると光沢ムラが出るおそれがあります。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

シンク

日ごろのお手入れ (ステンレス／人造大理石共通※)

TOOLS



柔らかい布



柔らかいスポンジ



台所用洗剤

1. 布またはスポンジに台所用洗剤を付けて汚れを落とす。
2. 洗い終わったら水でよく流す。
3. 水分を拭きあげる。

※シンク付属品・オプションを含む



コート付きシンクは汚れが付きにくく拭き取りやすいコーティングをしているので、従来のシンクとお手入れ方法が異なります。コートをキズつけず性能を長く保つため、下記に記載してあるお手入れ方法・注意事項をお守りください。

頑固な汚れ

P.31を参照してください。

もらいサビのお手入れ

(デュアルコート付きステンレスシンク)

クリームクレンザーはデュアルコート付きステンレスシンクに使用できません。

下記の方法でもらいサビを除去してください。

※下記のシンク以外のもらいサビのお手入れはP.31を参照してください。

デュアルコート付きステンレスシンク

水を含ませたメラミンスポンジで軽くこすり、水分を拭きあげる。

コートの性能が悪くなったと感じたら

1. 上記のお手入れを数回繰り返します。
汚れが残っていると、コーティングが表面に露出せず、効果が得られない場合があります。
2. 汚れを取り除いてもコート性能が戻らない場合はコートの効果が低下しています。
 - ・ステンレスシンク／デュアルコートの場合⇒
「デュアルコートタッチアップ(部分補修) [有償]」や「再加工サービス(全面補修) [有償]」をご用意しております。
LIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。

※コーティングを補修するもので、キズは直りません。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

キズの補修方法

付属品説明

人造大理石シンク

1. 付属のナイロンタワシで円を描くように研磨する。
2. 上記1の方法でもキズが取れない場合、付属の耐水ペーパー（#320）に水を付けて、円を描くように研磨する。
3. 仕上げに付属のメラミンスポンジに水を含ませて軽くこする。

※研磨し過ぎるとツヤが出ますので、状況を見ながら実施してください。

※エブロンは材質が異なるため、付属のナイロンタワシ・メラミンスポンジは使用できません。

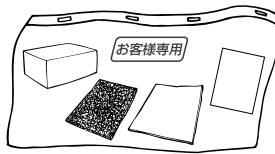
※包丁などの鋭利なものを落としてついた深いキズや欠けは、補修が必要になります。

有償にて修理を承っておりますので、お買い上げの販売店、またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。

キズや欠けの状況によっては、補修ができない場合があります。

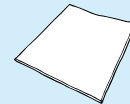
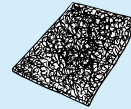
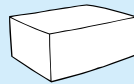
人造大理石シンク専用

お手入れセット

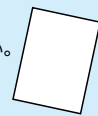


付属品

- ①メラミンスポンジ(白) ②ナイロンタワシ(茶) ③耐水ペーパー(#320) ④お手入れ説明書



お読み
ください。



※ステンレス製シンクには付属されません。

※メラミンスポンジ・ナイロンタワシ・耐水ペーパーは、ホームセンター等で同等のものを購入できます。

※キズ直しのポイント

- 一定の方向にならないように、キズを中心に円を描くように磨いてください。
- ツヤの違いがきになる場合は、適量のクレンザーをスポンジに付けて、研磨部と未研磨部の境目をこすってなじませてください。

良い例	悪い例
 すりキズ	 すりキズ
キズを中心に 円を描くよう に研磨する	同じ方向に 研磨しない

⚠ 注意 (シンク)

- ❌ヌメリ取り剤は使用しない。
市販のゴミカゴ用のヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスがサビる場合があります。
- ❌人造大理石シンク専用お手入れセットを別の場所に使用しない。また、人造大理石トップにも使用しない。
トップの表面の光沢が落ちて、汚れやすくなります。

❗クレンザーを使用するときは、全体をぼかすようにスポンジで磨く。
素材をキズつけるおそれがあります。

❗使用後はシンク内を清掃し、水分を拭きあげる。
水滴は乾燥すると水アカになります。使用後は洗剤残り・調理汚れ・砂・泥などを水道水で十分に洗い流した後、拭きあげてください。

❗目立たない所で試してから補修をはじめる。
補修をはじめる前に、あらかじめ目立たない所でお試ください。
試してうまくいかなかったりわからないことがある場合は、お買い上げの販売店またはお客さま相談センターへご連絡ください。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

⚠ 注意 (コート付きシンク)

- ❌ クリームクレンザーは使用しない。
コーティングにキズがつき、汚れが落ちにくくなります。
- ❌ 強くから拭きしない。
コーティングにキズがつき、汚れが落ちにくくなります。
- ❗ 各種洗剤は使用上の注意を必ず守り、使用後は水道水で十分に洗い流す。
コーティングが劣化し、はがれるおそれがあります。

- ❗ 排水管洗浄剤は、直ちに水で十分に洗い流す。
コーティングを傷めます。あやまってシンクに付着した場合は直ちに水で十分に洗い流してください。
- ❗ 還元水素水生成器の排水口からの捨て水は、直ちに水で十分に洗い流す。
酸性水が流れ、長時間繰り返し付着放置すると、コーティングが劣化し、はがれるおそれがあります。

水栓金具

日ごろのお手入れ

TOOLS



柔らかい布



柔らかいスポンジ



住宅・家具用洗剤

柔らかい布で汚れを拭き取り、水分を拭きあげる。



頑固な汚れ

1. 布またはスポンジに、住宅・家具用洗剤をつけて汚れを落とす。
2. 残った洗剤を、固く絞った柔らかい布で拭き取る。
3. 水分を拭きあげる。

※メラミンスポンジで強くこすると、キズがつくおそれがあります。
※製品に付属の専用取扱説明書の注意事項を必ずお読みください。

排水まわり

日ごろのお手入れ

TOOLS



柔らかい布



柔らかいスポンジ



台所用洗剤

ゴミカゴ・排水部のまわりを、布やウレタンスポンジで洗う。

※スポンジなどでお手入れできない隙間の汚れのお手入れは、古い歯ブラシや先端が軟質性のピック状のもの(歯間ブラシなど)を使ってください。ただしピック状のものを使用する場合は先端が折れないように力を加減してください。



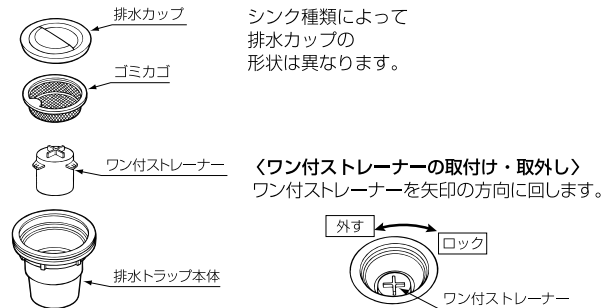
長くお使いいただくために・お手入れ方法

物が流れてしまったら

1. 水栓からの吐水を止める。
2. ゴミカゴ・封水筒を取り外す。
3. シンク排水部から長めの棒などで物を拾い上げる。
4. 各部品を元通り取り付け。

■ワン付排水トラップ

1. 水栓からの吐水を止める。
2. 排水カップ・ゴミカゴ・ワン付きストレーナーを取り外し、お湯または台所用洗剤で洗う。
3. 排水トラップをお湯または台所用洗剤で洗う。
4. 洗い終わったら水で流す。
5. 各部品を元に戻す。
6. 最後に少量の水を流してワン付きストレーナーに水を溜める。

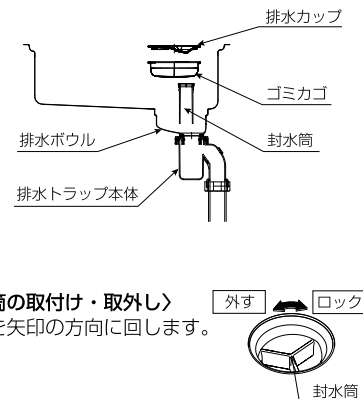


水の流れが悪くなったら

ワン付きストレーナーを取り外して排水トラップにたまったものを取り除き、日ごろのお手入れ手順でお手入れしてください。

■小型排水トラップ

1. 水栓からの吐水を止める。
 2. 排水カップ・ゴミカゴ・封水筒を取り外し、お湯または台所用洗剤で洗う。
 3. 排水ボウルをお湯または台所用洗剤で洗う。
 4. 洗い終わったら水で流す。
 5. 各部品を元に戻す。
 6. 最後に少量の水を流してトラップに水を溜める。
- ※人造大理石シンクの場合、排水ボウルはシンク一体となっています。

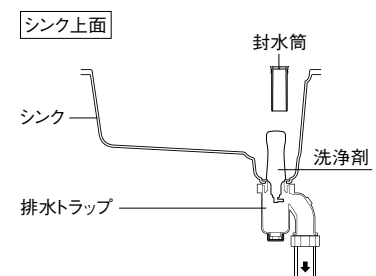


水の流れが悪くなったら

封水筒を取り外して排水トラップにたまったものを取り除き、日ごろのお手入れ手順でお手入れしてください。

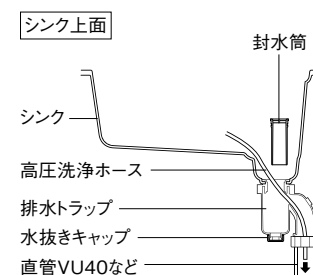
■排水管の洗浄方法

1. 封水筒を取り外す
 2. 洗浄剤を投入する
- ※洗浄剤は、右図のように容器先端部分のノズルが90°横に向いているものを使用してください。
3. 封水筒を取り付ける。
 4. 2~3L程度の水を一気に数回流して、洗浄剤を洗い流す
- ※封水筒を付けたほうが自己サイフォンが発生して洗浄効果が高いです。



■高圧洗浄方法

- トラップの配水管が、VU管などの直管配管接続の場合、高圧洗浄ができます。
- ※排水パイプ接続の場合、パイプが破れますので、高圧洗浄は行わないでください。
1. 封水筒を外す。
 2. シンク上部から洗浄する。
 3. 洗浄後、外した部品は確実に締め込みながら取り付ける。



長くお使いいただくために・お手入れ方法

キャビネット・引出し

日ごろのお手入れ

TOOLS



柔らかい布



柔らかいスポンジ 住宅・家具用洗剤



1. 布またはスポンジに、住宅・家具用洗剤を付けて汚れを落とす。
2. 残った洗剤を、固く絞った布で拭き取る。
3. 乾いた柔らかい布で優しく水分を拭きあげる。

※アシストポケットは外して洗うことができます。
しっかりか水分を拭きあげてから元に戻してください。

※隅にたまったゴミは、ブラシで取り除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になります。



⚠ 注意 (キャビネット・引出し)

- 🚫 ポケット類・引き出しトレイは、熱湯消毒しない。
変形するおそれがあります。

扉・パネル類

日ごろのお手入れ

TOOLS



柔らかい布



住宅・家具用洗剤

柔らかい布で優しく拭く。

※柔らかい布とは、メガネ拭きで使用するような布を指します。



頑固な汚れ

1. 薄めた住宅・家具用洗剤を含ませた柔らかい布で、こすらず押し当てるようにして汚れを落とす。
扉の縁についた汚れは扉に沿って拭き取る。
2. 表面に洗剤を残さないように、固く絞った柔らかい布で水拭きする。
3. 乾いた柔らかい布で優しく水分を拭きあげる。

油汚れ

1. 少量の市販クレンジング(オイルタイプ)を柔らかい布に点滴し、汚れ部分に軽く塗る。
2. 住宅・家具用洗剤を含ませた新しい布で、こすらずに押し当てるようにして落とす。
3. 表面に洗剤を残さないように、固く絞った柔らかい布で水拭きする。
4. 乾いた柔らかい布で優しく水分を拭きあげる。

※汚れは付着後すぐに拭き取ってください。時間が経つと落ちにくくなります。

長くお使いいただくために・お手入れ方法

センターキッチン用ガラスパネル

1. ガラス用洗剤、または住宅・家具用洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落とす。
2. 水を含んだ柔らかい布で洗剤を拭き取り、乾いた柔らかい布で優しく水分を拭きあげる。

樹脂パネル扉

乾燥した日には樹脂パネルに静電気が発生しホコリが付きやすくなるので、こまめにお手入れする。

⚠ 注意 (扉・パネル類)

- ❌ 強くから拭きしない。
ツヤのある扉やパネル類は、表面にキズをつけて傷めてしまうことがあるので注意してください。
- ❌ 扉やパネル類の表面に付いた洗剤は残さない。
洗剤分が残ると扉の表面が傷み、変色するおそれがあります。

- ❌ 取手にホコリがたまらないよう、こまめに清掃する。
へこみ部にホコリがたまる場合があります。こまめにお手入れをしてください。ホコリと手の汚れ(皮脂)による黒ずみの原因となります。

キッチンテーブル

日ごろのお手入れ

TOOLS



柔らかい布



柔らかいスポンジ 住宅・家具用洗剤



1. 布またはスポンジに、台所用中性剤を付けて汚れを落としてください
2. 表面に残った洗剤を、固く絞った布で拭き取ってください。
3. 水分を拭き上げてください。



こんなときは

- 塩素系洗剤やしょう油などが付着した
→ 放置せず、直ぐに水拭きで拭取ってください。時間が経つと落ちにくくなります。

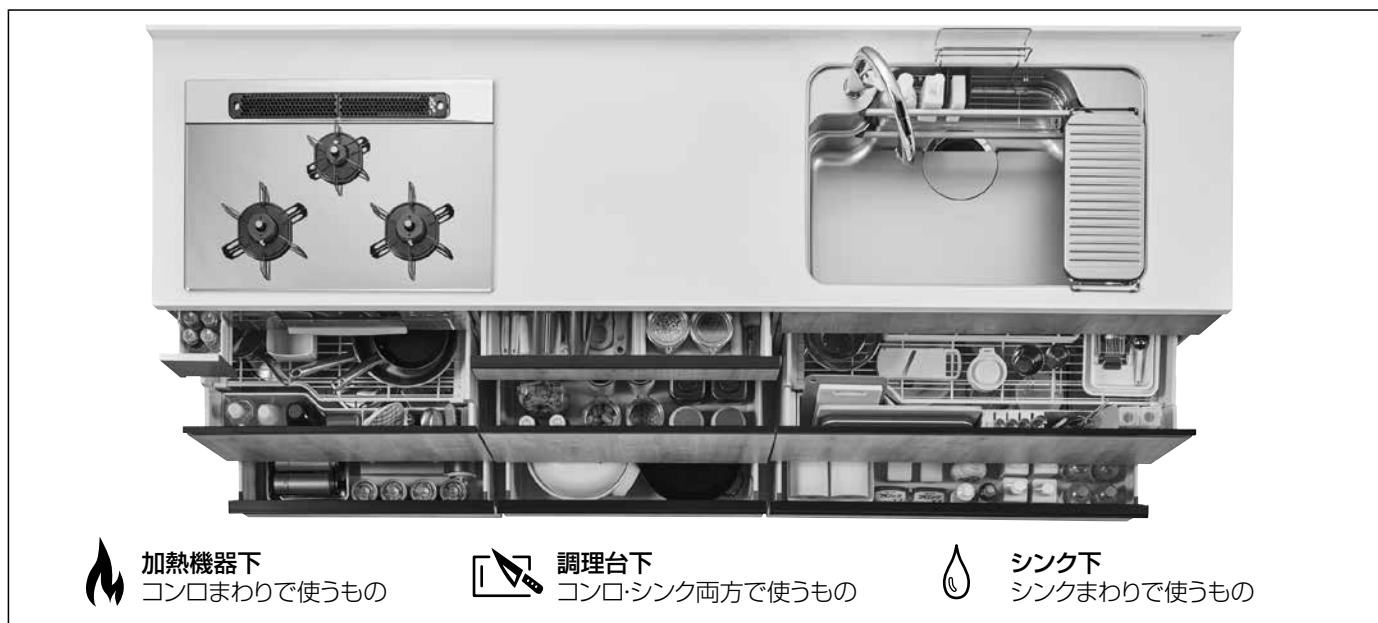
⚠ 注意 (キッチンテーブル)

- ❌ 熱いものをじかに置かない。
熱により変色するおそれがあります。
- ❗ 汚れや洗剤が付着した場合は速やかに拭き取る。
汚れたまま放置すると取れなくなることがあります。時間が経つと落ちにくくなります。

- ❗ お手入れの際は柔らかい布でから拭きしてください。
たわし、ワックス、漂白剤、強酸類、シンナー、アセトン、ペイント除去剤などの溶剤、強アルカリ類は絶対に使用しないでください。変色やサビの発生、光沢変化などのおそれがあります。

- ❗ テーブルとパネルの隙間に入り込んだ汚れはやわらかいブラシや綿棒などで取り除いてください。

収納例











加熱機器下
コンロまわりで使うもの



調理台下
コンロ・シンク両方で使うもの



シンク下
シンクまわりで使うもの

	加熱機器用キャビネット	調理台用キャビネット	シンク用キャビネット
上段	(小引出し:よく使う調味料) 塩・コショウなど	 よく使う小物や調味料 ピーラー・計量スプーン・スパイス類 *オプションで収納トレイもあります	_____
中段	(シェルフ) よく使う平たいもの フライパン・卵焼き器 など	_____	よく使う調理小物 ボウル・ザル・バット など
	引出  加熱調理道具 両手鍋・片手鍋・鍋ふた など	 高さのあるもの・保存のきく食品 乾物・パスタ・調味料ボトル など (パッケージ記載の保存方法を 守ってください)	 シンクまわりで使うもの ボウル・ザル・バット サラダスピナー・すり鉢 など
	ポケット サッと取り出したいもの 油類・お玉・フライ返し など (油は1kgのボトルまで入れられます)	_____	サッと取り出したいもの まな板・包丁 ラップ・菜箸・泡立て器 など
下段	 重いもの・使用頻度の低いもの・季節 もの・ストック品 圧力鍋・土鍋・カセットコンロなど	  食器洗い乾燥機があるキャビネットの場合、食品・飲料類・ガスボンベ類は 収納できません。 禁止 下段の引出しは温度が高くなるため温度の影響を受けるものは収納しないでください。	

シェルフについて



禁止

加熱機器下のシェルフのフェンス内にモノをいれたり、フェンスを外したりしないでください。
ガス栓にモノがぶつかり大変危険です。



必ず実行

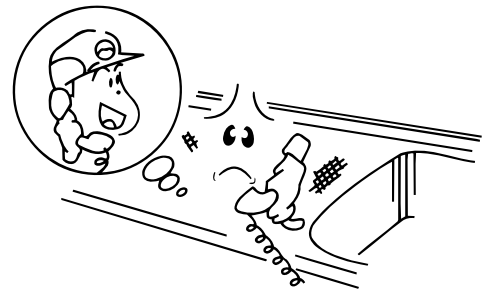
規定の積載重量を守り、均等に収納物を入れてください。
シェルフが引出しと連動しない事があります。

故障・修理について

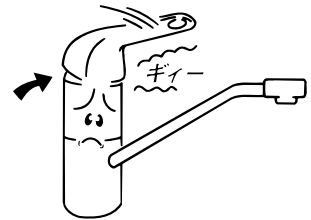
製品には万全を尽くしておりますが、長い間使用していますと多少の不具合が出る場合があります。その場合は以下のように行ってください。

ワークトップ、シンク、扉、水栓金具

■ 人造大理石トップやステンレストップ、また扉についた細かいキズや変色には修理できるものもあります。お早めに、お買い上げいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



■ 水栓レバーは、長い期間使用すると、レバー操作時の抵抗が大きくなります。これは故障ではなく、水アカなどによるグリースの消耗が原因です。お買い上げいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

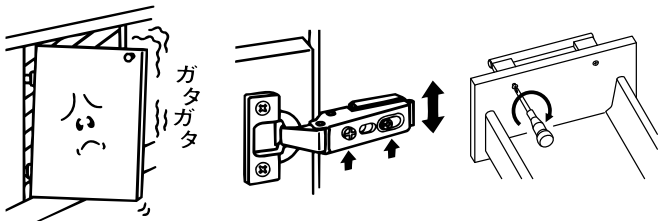


キャビネット

■ 扉や取手がガタつく

扉の吊り元の丁番や、取手をとめているねじがゆるんでいませんか？

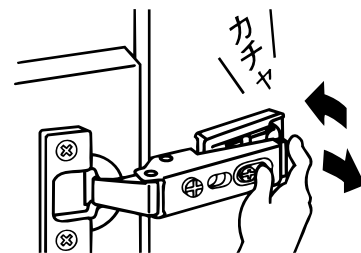
ゆるんでいたら締め直してください。ねじ調整が必要です。扉の調整の説明(36ページ)をご覧ください。



■ 扉が外れた

扉の吊り元の丁番が外れていませんか？

ワンタッチ丁番ですのでスムーズに取り付けできます。扉の取外しの説明(36ページ)をご覧ください。



本製品のホルムアルデヒド発散区分

表 示 内 容	
1 商品名	システムキッチン
2 企業名	株式会社 LIXIL
3 ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆
4 表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による
5 製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。
6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細 PB F☆☆☆☆ MDF F☆☆☆☆ 合板 F☆☆☆☆ 接着剤 F☆☆☆☆
7	本表示に関するお問い合わせ先 お客さま相談センター ☎0120-190-521

VOC放散性能	4VOC基準適合(木質建材)
表示ルール	住宅部品VOC表示ガイドラインによる

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示す。

アフターサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。

1 点検・修理を依頼される時

- 商品に不具合がありましたら、再度、本説明書の故障・修理のページをお読みいただき、一度調整してみてください。
- 調整しても直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、ご自分で修理しないで、お買い求めいただいた販売店か、修理受付センターまでご連絡ください。



警告

修理技術者以外の人は絶対に取り付けを行わないでください。
思わぬ事故が発生しケガをするおそれがあります。

■お申し込みの際には、次のことをご確認ください。

- 保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

保証期間中の修理

修理に関して必ず保証書をご提示ください。
保証期間中は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料・部品代です。

連絡していただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号

2. 商品名・品番

品名コード、製品名、邸No.(又は製造No.)も併せてお知らせください。
(各キャビネット内側に貼り付けしている「検査証」に記載されています。
点検・修理対象キャビネットの「検査証」をご確認ください。)

システムキッチン本体以外の組込機器などについては、専用取扱説明書と製品本体に品名表示があります。

3. 故障内容

不具合の状況をできるだけ詳しくお知らせください。

4. ご訪問希望日

当社は、当社がお客様から直接ご提供いただいたお客様の個人情報、流通業者様などから間接的に取得いたしましたお客様の個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

2 サービス部品(補修用性能部品)について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。(BL認定品は10年です。)

この保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

*補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

*一部の部品(例えば、キャビネットの扉、ワークトップ)につきましても、同一部品で修理できない場合がありますので、ご了承願います。

*システムキッチン以外の組込機器の補修用性能部品最低保有期間については、それぞれの専用取扱説明書をご覧ください。

3 廃棄処分について

廃棄処分の際は必ず許可を受けた専門業者に依頼してください。

MEMO

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店または取扱説明書記載の修理受付センターに修理をご依頼ください。

* 品番・取付日・お客さま・販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名	システムキッチン		
保証期間	取付日より	2ケ年（注1）（注2）	取付日
お客さま	おなまえ	無効	販売店名
	おところ		
	おでんわ		() - () -

お客さまへ

（注1）取付日とは、

- ・改修工事の場合は、改修部分の工事の完了日とします。
- ・分譲住宅（建売住宅）、分譲および賃貸マンションの場合は、建築物が建築主さまへ引き渡しされた日とします。
- ・建築主様が直に取り付けされる場合は、購入日とします。

（注2）レンジフードや加熱機器、食器洗い乾燥機などの機能機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証書に関する書面に従います。また、弊社標準取扱品以外の機能機器に起因する不具合は、保証対象外です。

- ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにご依頼ください。
3. BL認定品は製品及び施工の不具合について、シンクの防水機能、キャビネットの本体の剛性については5年間、その他の不具合については2年間無料修理いたします。また、BL認定品には製品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。
BL認定品は製品の扉の裏面にBLマーク証紙が貼付されています。（但し、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費は有料となります。）
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
 - (1) 住宅用途以外（車輻、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - (2) 指定業者や取付設置説明書等に基づかない取付に起因する不具合
 - (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - (4) 専門業者以外による移動・修理・分解、加工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
 - (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気循環及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
 - (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、小鳥、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
 - (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
 - (10) 戦争、暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
 - (13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（*水道水とは水道事業者が供給する上水をいう。）
 - (14) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - (15) 本書のお取付日、お客さまのお名前、販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの販売店または取扱説明書に記載の修理受付センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、6ケ年です。（BL認定品は10ケ年です。）

《個人情報の取り扱い》

当社は、当社がお客さまから直接ご提供いただいたお客さまの個人情報、流通業者様等から間接的に取得いたしましたお客さまの個人情報および流通業者様等の個人情報を、アフターメンテナンス等、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

<http://www.lixil.co.jp/>

■修理のご依頼は、LIXIL 修理受付センターへ

TEL. ☎ 0120-000-072

FAX. 0570-027-027

受付時間 / 9:00～19:00 (年末年始の休みは除く)

■使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは、お客さま相談センターへ

TEL. ☎ 0120-190-521

FAX. 0570-020-828

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)



2023.05.KI
8A32041 22SKトリアツカイセツメシヨ
GKS-0318(23051)